

第七十五回帝國議會
衆議院

所得稅法改正法律案外三十件委員會會議錄速記第八回

付託議案

所得稅法改正法律案(政府提出)(第七號)
法人稅法案(政府提出)(第八號)
特別法人稅法案(政府提出)(第九號)
配當利子特別稅法案(政府提出)(第一〇號)
外貨債特別稅法中改正法律案(政府提出)(第一一號)
相續稅法中改正法律案(政府提出)(第一二號)
建築稅法案(政府提出)(第一三號)
礦區稅法案(政府提出)(第一四號)
臨時利得稅法中改正法律案(政府提出)(第一五號)
營業稅法案(政府提出)(第一六號)
地租法中改正法律案(政府提出)(第一七號)
酒稅法案(政府提出)(第一八號)
清涼飲料稅法中改正法律案(政府提出)(第一九號)
砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出)(第二〇號)
織物消費稅法中改正法律案(政府提出)(第二一號)
揮發油稅法中改正法律案(政府提出)(第二二號)
物品稅法案(政府提出)(第二三號)
遊興飲食稅法案(政府提出)(第二四號)
取引所稅法中改正法律案(政府提出)(第二五號)
通行稅法案(政府提出)(第二六號)
入場稅法案(政府提出)(第二七號)
印紙稅法中改正法律案(政府提出)(第二八號)
骨牌稅法中改正法律案(政府提出)(第二九號)
狩獵法中改正法律案(政府提出)(第三〇號)
明治四十四年法律第四十五號中改正法律案(砂糖消費稅織物消費稅等ノ徵收ニ關スル件)(政府提出)(第三一號)
大正九年法律第五十一號中改正法律案(內地臺灣又ハ樺太ヨリ朝鮮ニ移出スル物品ノ内地稅免除ニ關スル件)(政府提出)(第三二號)
支那事變特別稅法及臨時租稅增徴法廢止法律案(政府提出)(第三三號)
營業收益稅法廢止法律案(政府提出)(第三四號)
資本利子稅法廢止法律案(政府提出)(第三五號)
法人資本稅法廢止法律案(政府提出)(第三六號)
臨時租稅措置法中改正法律案(政府提出)(第三七號)
地方稅法案(政府提出)(第三八號)
地方分與稅法案(政府提出)(第三九號)
府縣制中改正法律案(政府提出)(第四〇號)
町村制中改正法律案(政府提出)(第四一號)
北海道會法中改正法律案(政府提出)(第四二號)
北海道地方費法中改正法律案(政府提出)(第四三號)
地方分與稅分與金特別會計法案(政府提出)(第四四號)

會議

昭和十五年二月二十四日(土曜日)午後一時三十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 堀切善兵衛君

理事小山倉之助君 理事濱野徹太郎君

理事木村 淺七君 理事高橋熊次郎君

理事小笠原三九郎君 理事立川 平君

理事河野 密君

山本 糸吉君 池本甚四郎君

中島彌團次君 內藤 正剛君

長野 長廣君 愛野時一郎君

川崎 克君 渡邊玉三郎君

櫻井兵五郎君 塚本 三君

伊藤 五郎君 石井德久次君

船田 中君 宮本雄一郎君

山川頼三郎君 豐田 收君

森 肇君 森田 福市君

板谷 順助君 西川 貞一君

瀧澤 七郎君 小見山七十五郎君

鈴木 英雄君 田万 清臣君

松永 義雄君 佐竹 晴記君

石坂 繁君 道家齊一郎君

青木 作雄君 藤本 拾助君

北 勝太郎君 武田德三郎君

出席國務大臣左ノ如シ

內閣總理大臣 米內 光政君

大藏大臣 櫻內 幸雄君

內務大臣 伯爵兒玉 秀雄君

逓信大臣 勝 正憲君

商工大臣 藤原銀次郎君

出席政府委員左ノ如シ

內閣書記官長 石渡莊太郎君

內務政務次官 鶴見 祐輔君

內務省地方局長 挾間 茂君

內務書記官 三好 重夫君

大藏政務次官 木村 正義君

大藏參與官 松田 正一君

大藏省主稅局長 大矢半次郎君

大藏書記官 植木庚子郎君

大藏書記官 田中 豐君

大藏書記官 山田 義見君

大藏書記官 池田 勇人君

營繕管財局理事 松隈 秀雄君

商工省振興部長 妹川 武人君

商工書記官 山本 茂君

物價局次長 新倉 利廣君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

所得稅法改正法律案(政府提出)

法人稅法案(政府提出)

特別法人稅法案(政府提出)

配當利子特別稅法案(政府提出)

外貨債特別稅法案(政府提出)

相續稅法中改正法律案(政府提出)

建築稅法案(政府提出)

礦區稅法案(政府提出)

臨時利得稅法中改正法律案(政府提出)

營業稅法案(政府提出)

地租法中改正法律案(政府提出)

酒稅法案(政府提出)

清涼飲料稅法中改正法律案(政府提出)

砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出)

揮發油稅法中改正法律案(政府提出)

物品稅法案(政府提出)

遊興飲食稅法案(政府提出)

取引所稅法中改正法律案(政府提出)

通行稅法案(政府提出)

入場稅法案(政府提出)

印紙稅法中改正法律案(政府提出)

骨牌稅法中改正法律案(政府提出)

狩獵法中改正法律案(政府提出)

明治四十四年法律第四十五號中改正法律案(砂糖消費稅織物消費稅等ノ徵收ニ關スル件)(政府提出)

大正九年法律第五十一號中改正法律案(內地臺灣又ハ樺太ヨリ朝鮮ニ移出スル物品ノ內國稅免除ニ關スル件)(政府提出)

支那事變特別稅法又臨時租稅增徴法廢止法律案(政府提出)

營業收益稅法廢止法律案(政府提出)

資本利子稅法廢止法律案(政府提出)

法人資本稅法廢止法律案(政府提出)

臨時租稅增徴法中改正法律案(政府提出)

地方稅法案(政府提出)

地方分與稅法案(政府提出)

府縣制中改正法律案(政府提出)

市制中改正法律案(政府提出)

町村制中改正法律案(政府提出)

北海道會法中改正法律案(政府提出)

北海道地方費法中改正法律案(政府提出)

地方分與稅分與金特別會計法案(政府提出)

出)

○堀切委員長 是ヨリ開會致シマス——西川君、內務大臣ガオ居デデスカラ先ヅ內務大臣ニ對スル質問カラ願ヒマス

○西川委員 前會ニ引續イテ內務大臣ニ御尋致シマス、前會ノ質問ニ於テ明カニナリマシタガ如クニ、戶數割ノ全廢ハ地方民ノ多年希望致シマシタ所デアリマシテ、今回ノ改正ニ於テ其ノ實現ガ出來マスコトハ吾等ノ多トスル所デアリマスケレドモ、其ノ結果市町村財政ノ運用ニ於キマシテ、土地ノ負擔或ハ營業者ノ負擔等ガ不當ニ重クナルノ憂ハ、大臣ノ屢次ノ答辯ヲ以テ致シマシテモ、私共釋然トスルコトガ出來ナイノデアリマス、諒解シ得ナイノデアリマス、ソコデ是ガ是正ノ對策ト致シマシテ、市町村財政ノ不時ノ支出ニ備ヘル爲ニ、配付稅中一定ノ金額ヲ府縣ニ留保サレマシテ、必要ト認メル場合ニ特別配付ノ方法ヲ執ラレマスルナラバ、此ノ負擔ノ不正ノ一部ヲ是正シ、町村財政ノ運用ヲ圓滑ニスルコトガ出來ルト思フノデゴザイマスガ、之ニ對シマシテノ當局ノ御考ハ如何デゴザイマセウカ

○兒玉國務大臣 只今ノ御話デアリマスルガ、當該年度ノ配付稅ヲ府縣ニ留保シテ行クト云フコトハ困難ナヤウデアリマス、併シ後年度ニ於テ剩餘金ガアリマス場合、之ヲ廻シテ行クトハ出來ヨウト思フノデゴザイマスガ、其ノ當該年度ノ所謂留置キト云フモノヲ認メマスコトハ困難ナヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス

○西川委員 當該年度ニ於テハ困難デアアルガ、翌年度ニ於テハ其ノ配付稅ニ於テ考慮シテ行ク、斯ウ云フ御趣旨デアリマスルナラバ、年度ガ食違ツテ來ルダケデアリマスタラバ、私共ハソレデ大體諒解シテ宜シイト思ツテ居リマス

次ニ尙ホ市町村民ノ負擔ノ公正ヲ期シマスル爲ニハ、市町村民稅ノ賦課ニ關シマシテ市町村財政ノ運用ヲ圓滑ニシ、特ニ和衷協同ノ精神ヲ具現スル意味ニ於キマシテ必要ナル措置ヲ爲シ、市町村民負擔ノ公正ヲ保ツコトニシナクテハナラヌト思フノデゴザイマスルガ、此ノ改正案ニ於キマシテ、ソレ等ノ御用意ガ當局ニオアリデアリマスカドウカ

○兒玉國務大臣 其ノ點ハ十分ニ考ヘナケ

レバナラス重要ナル點ト考ヘテ居リマス、隨
ヒマシテ市町村民稅ヲ課シマスル場合ニ、
ソコニ均衡ヲ得ルヤウナ風ニ手心ヲ加ヘル
ト云フ事柄ヲ考慮シテ居ルノデアリマス

○西川委員 只今ノ手心ヲ加ヘル措置ニ關
シマシテハ、是ハ命令事項等ニ依ツテ規定
サレルノデアリマスカ

○兒玉國務大臣 各市町村即チ市町村條例
ニ依ツテ之ヲ定メルコトガ出來ヨウト思ッ
テ居リマス

○西川委員 市町村條例ニ對シマシテハ、
當局ニ於テ適當ニ指導サレルト云フ豫定デ
ゴザイマスカ

○兒玉國務大臣 適當ナル指導ヲ致シタイ
ト思ッテ居リマス

○西川委員 サウ云フコトニナリマスル
結局不時ノ財政需要ヲ生ジマシタル場合、
特ニ天災地變ノ起リマスル都度——地變ト
言ヘバ言葉ガ大キウゴザイマスガ、町村等
ニ災害ガ起リマシタル都度、町村債ノ起債
ガ非常ニ大キクナツテ來ルト思フノデアリ
マス、現在ニ於キマシテモ此ノ地方ノ起債
ガ大キイコトハ、色々地方財政ノ上ニ問題
ヲ起シテ居ルノデゴザイマスガ、今後ニ於
キマシテハ益々起債ノ件數ガ増加スルト思
フノデゴザイマス、ソコ當局ト致サレマ
シテハ、是等ノ場合地方財政ノ調整ヲ圖リ、
且ツ起債手續ノ簡易化ヲ圖リ、又一面利子
負擔ノ輕減等ヲ目的ト致シマシテ、地方財
政調整中央金庫トデモ調フベキモノヲ御設
立ニナル必要ガアルノデハナイカト思フノ
デアリマス、之ニ對シマシテノ御意見ヲ伺
ヒタイト思ヒマス

又今一ツハ、今日市町村ニ於キマシテハ、

市町村民自身ノ資金ガ産業組合等相當ニ蓄
積サレテアルノデアリマス、然ルニ現在ノ
制度ノ下ニ於キマシテハ、其ノ市町村ノ必
要ノ生ジマシタル時ニ、市町村民ガ折角蓄
積シテ居ル組合等ノ資金ヲ、町村ガ利用ス
ルコトガ出來マセヌノデ、高イ利子ヲ出シ
テ外カラ借入レナクテハナラスト云フヤウ
ナ狀態ニモナツテ居ルノデアリマス、又一
面組合等ニ於キマシテハ、其ノ保有スル遊
資ノ運用ニ色々困難ヲ感ジマシテ、今回問
題トナツテ居リマスル組合ノ保險經營問題
ノ如キモ、何トカシテ産業組合ガ有スル資
金ヲ有利ニ運用シナクテハ經營ガ出來ナイ
ト云フ趨勢ガ、ア、云フ所ニ現ハレタ一ツ
ノ現象ダト吾々ハ見テ居ルノデアリマス、
市町村民自身ガ蓄積シタ資金デアリマスカ
ラ、其ノ市町村ニ於テ其ノ資金ガ必要ナル
場合、公共團體ガ之ヲ利用スルト云フ途ヲ
開キマス、兩方面カラ好都合ニ行クト思
フノデゴザイマスガ、是等ノ二ツノ點ニ對
シマスル大臣ノ御所見ヲ承ツテ置キタイノ
デアリマス

○兒玉國務大臣 不時ノ災害ガアリマシタ
時ニ於キマシテハ、大體第一ニ配付稅ノ配
付額ニ付テ考慮シ、ソレカラ又後年度ニ於
キマシテ配付額ノ剩リマシタル所ノモノニ對
シテ、又之ニ依ツテ救済ヲスル途モアリマ
スガ、ソレノミヲ以テスルコトハ出來ナイ
ト云フ場合ニ於テハ、自然市町村債ガ考ヘ
ラレルト云フコトニナルト思ヒマス、此ノ
市町村債ノ問題ヲ考ヘマスル時ニ、只今御
話ニナリマシタル中央金庫ノ問題ハ私ハ良
イ制度ノヤウニ考ヘテ居リマスノデ、特ニ
考慮ヲ加ヘテ見タイト思ヒマス、ソレカラ
第二點ハ借入金ノ問題デアリマス、此ノ點

ニ付テモ考慮シタイト思ッテ居リマス

○西川委員 考慮サレルト云フコトハ何時
モ當局ノ常套語ノヤウニナツテ居ルヤウデ
アリマスガ、私共ハ考慮ヲ求メルノデハナ
クシテ、其ノ結論ヲ實ハ聽キタイノデアリ
マス、成ベク速ニ考慮サレマシテ、適當ノ
機會ニ——願ハクハ此ノ委員會繼續中ニ
結論ヲ表明サレンコトヲ希望スル者デアリ
マス

尙ホ配付稅ノ分配ニ關シマシテ色々緻密
ニ御考慮ニナツテ居リマスコトハ多トスル
ノデアリマスガ、市町村ノ實情ニ於キマシ
テハ、其ノ人口一人當リノ財政需要ニ大ナ
ル差異ガアルト思フノデアリマス、例ヘバ
交通ノ便ガ好ク、地勢ガ好ク、比較的人口
ノ密集致シテ居リマス町村ニ於キマシテ
ハ、學校ヲ經營致スニ致シマシテモ、其ノ他
ノ營造物ノ關係カラ致シマシテモ、其ノ住
民一人當リノ財政需要ガ低イノデアリマス、
然ルニ交通ノ便ガ悪ク、地勢ガ悪ク廣イ地
域ニ人口ガ分散致シテ居リマス山村ノ如
キニ於キマシテハ、一人當リノ財政需要ガ
頻ル多額ニ上ルノデアリマス、又配付稅ノ
第一種ノ方ノ標準トナリマスル課稅力ノ關
係カラ言ヒマスル、寧ろ漁村邊リハ人口
ハ密集致シテ居リマスルガ、課稅力ハ極メ
テ少イ、ソコデ現在地方財政調整交付金ノ
交付額等モサウ云フ所ニハ多イノデアリマ
ス、然ルニ財政需要カラ申シマスル、割
合ニ土地ガ廣イ爲ニ地租等ノ配付額ノ多イ
山村方面ハ、當局ノ標準ニ依ツテ所謂財政
力ガ相當ニ強イ形ニナツテ、隨テ配付額ガ
少クテ、而モ人口一人當リノ財政需要ガ非常
ニ高イ爲ニ非常不利ナ結果ニ陥ルノデア
リマス、此ノ點ニ對シマシテノ御考慮ハ、

今回ノ配付稅ノ配付標準ニ關シマシテ、マ
ダ十分デナイト思フノデゴザイマスルガ、
是等ハドウ云フ風ニ取扱ツテ行カレル御積
リデアリマスカ

○兒玉國務大臣 地方ニ依リマシテ、人口
ノ密度關係等特殊ノ場合ガアリマス時分ニ
於キマシテハ、第三種配付稅ノ配付方ニ依
ツテ之ヲ調整シテ行ク積リデゴザイマス

○堀切委員長 西川君、商工大臣ガ見エマ
シタガ……

○西川委員 商工大臣ニハ成ベク總理ト一
緒ニ聽キタイノデアリマス

○堀切委員長 ソレデハ内務大臣ノ方ガア
レバ續ケテ戴キマス

○西川委員 ソレデハ内務大臣ニ對スル質
問ヲ續ケマス、次ニ御伺致シマスコトハ、
現在市町村ニ於キマシテハ、市町村有ノ財
產ヲ相當ニ持ツテ居ルノデアリマス、而
モ是ハ將來ノ市町村財政ノ財源ニ致スト
云フコトヲ目論ミマシテ、多年ニ互ツテ
相當ノモノヲ涵養シ來ツテ居ルモノガ多イ
ノデアリマス、隨テ其ノ財產カラ生ズル
收入ガ一ツノ財源トナツテ來ルノハ、是ハ
年々増加スル傾向ニアルト思ヒマスガ、是
ハ地方配付稅ノ配付ニ付キマシテドウ云フ
風ニ考慮サレテ居ルカ、此ノ點ハ非常ニ重
大ナ結果ヲ來スト思フノデアリマス、此
ノ問題ニ關シマシテ、市町村有ノ財產カラ
收入ガ相當ニアルモノハ、配付稅ノ配付額
ヲ減少スルト云フヤウナ取扱ヲサレマスル
ト、從來營々苦心ヲ致シマシテ、財源ヲ涵養
シタモノハ馬鹿ヲ見タト云フヤウナ結果ニ
ナル、又其ノ點ハ全然考慮セズニ配付稅ヲ
決メテ行クコトニナリマス、財產ノ收益
ノ多イ町村ニ對シマシテハ、不必要ナル財

源ヲ交付サレルト云フ結果ニナル、ドチラニ致シマシテモ、是ハ非常ニ重大ナル結果ニナリマス、而モ今日ノ町村中ニ於キマシテハ、殆ド町村有財産ノ收益ヲ以テ大部分ノ町村費ヲ賄ツテ居ルガ如キ町村モ、例外デハアリマスルケレドモ全國ニ多少アルヤウニ私共存ジテ居リマス、是等ニ付キマシテハドウ云フ取扱ヲサレル方針ニナツテ居リマスカ

○兒玉國務大臣 只今ノハ財産收入ノ多イ町村、即チ優良ナル町村ニ關係スル問題ダト思ヒマスノデ、地方局長ヨリ御答申上ゲマス

○挾間政府委員 是ハ分與稅ノ分與ニ關スル基準ノ問題デ、極ク事務的ノモノニナリマスノデ便宜私ヨリ御答申上ゲマス、分與稅ノ分與ノ基準ハ、團體ノ財政狀況ヲ考慮シテ分與スル譯デアリマスガ、是ハ主トシテ其ノ團體ニ於ケル擔稅力ト云フコトガ基準ニナルベキモノデハナイカト思ヒマス、御說ノ稅外收入ノ一種デゴザイマスガ、ソレヲ分與ノ基準ニ加ヘタラドウカト云フコトハ、一應御尤モノヤウニ考ヘラレルノデアリマスガ、是ハ財産收入ノミナラズ、例ヘバ公營事業ヲ致シテ居リマシテ、其ノ事業收入タル使用料等ノ問題モアリマス、其ノ外稅外收入ハ色々デゴザイマスノデ、是ハ別個ノ問題トシテ考ヘナケレバナラナイト思ヒマスカラ、今回ノ配付稅ノ配付基準ハ、主トシテ財政需要トシテハ人口、課稅力ノ問題トシマシテハ國稅附加稅ノ擔稅力ト云フコトニ致シタイト考ヘテ居リマス

○西川委員 サウ致シマスルト、大體ニ於テ市町村有財産カラノ收益ハ全然顧慮セズニ、今後ノ市町村財政ハ運用出來ルト云フ

建前ニナツテ居ルモノト解シテ宜シウゴザイマスカ

○挾間政府委員 御話ノ通りデゴザイマシテ、財政經理ノ問題トシマシテハ、稅收入ト稅外收入ノ兩建デ行ク考デアリマス

○西川委員 總理大臣、商工大臣ガ御揃ヒニナリマシタガ、大臣ノ御都合モアリマセウガ、ドチラヲ先ニ致シマセウカ、內務大臣ニ對スル質問ヲ繼續致シマセウカ、總理大臣、商工大臣御立會ノ下デノ質問ニ移リマセウカ

○堀切委員長 アナタノ御都合ノ好イヤウデ宜シウゴザイマス、暫ク三大臣共オ居デ戴ケルト思ヒマス

○西川委員 ソレデハ內務大臣ノハアト一問カ二問デ終リマスノデ、內務大臣ノ方ヲ終リマセウ、是ハ內務大臣ノミナラズ、總理大臣ニモ御關係ナルコトダト思フノデアリマスガ、私が御伺致シタイノハ、地方制度改革ノ問題デゴザイマス、是ハ餘リ時間ヲ長ク取ルヤウニナリマスノデ、此ノ問題ハ他ノ委員ノ方ノ御質問デアリマシタ後ニ、尙ホ私ノ聽カントスル所ガ漏レテ居リマスレバ、更ニ改メテ聽クコトニ致シマシテ、其ノ方ハ略シマシテ、此ノ際部落團體ノ問題ニ對シテ御伺致シタイノデアリマス、部落團體ガ色々ノ意味ニ於テ極メテ重要ナル地位ヲ有シ、使命ヲ有シテ居リマスコトハ申スマデモナイコトデゴザイマスガ、特ニ最近ハ所謂國民精神總動員運動ノ細胞の組織ト致シマシテモ、又銃後援助ノ實行體ト致シマシテモ、又特ニ農山漁村等ニ於キマシテハ生産増進ノ實行體ト致シマシテモ、極メテ重要ナル機能ヲ發揮スルニ至ツテ居ルノデゴザイマス、隨テ政府ニ於カレマシテモ、

部落團體ノ問題ニ關シマシテハ色々ノ研究ヲサレテ居ルヤウデアリマシテ、最近ニガ法制化ニ付キマシテハ、農林省トシテモ考ヘテ居ラレルヤウデアリマス、又農林省關係ノ立場カラハ産業組合系統ノ考ヘ方ト、農會系統ノ考ヘ方トソレノアルヤウデアリマス、又內務省トシマシテモ地方制度ノ改革ニ關聯シテ、此ノ問題ニ付テハ考ヘテ居ラレルト思フノデアリマス、尙ホ厚生省ト致シマシテモ、農村ニ於ケル社會施設等ノ問題ニ關聯シマシテハ、ドウシテモ此ノ問題ニ最後ノ歸著點ガ移ツテ行クノデアリマス、然ルニ是ハ私が考ヘマスノニ、一體部落團體ナルモノハ法制デハ成立スルモノデハナイ、部落團體ニ關スル法律ヲ作ツタラ部落團體ガ成立シテ、ソレガ活動出來ルナドト思ヒマシタナラバ、是ハ非常ニ大キナ間違ヒデゴザイマシテ、部落團體ハ最モ純粹ナ意味ニ於テ、最モ基本的ナル意味ニ於テ協同體デアル、其ノ土地ニ於テ生活ヲ營ミ、祖先ヨリ家業ヲ繼イデ活動致シテ居リマス者ノ基本的協同體デアリマシテ、法律ニ依ツテ成立スルガ如キ目的社會、利益社會ト云フモノデハナイノデアリマス、祖先ノ血ト肉ト骨ト、自分ノ生活ノ糧ヲ產ミ出ス土ト、其處ニ住ンデ居リマス者ノ朝夕ノ呼吸ガ渾然一體トナツテ、土地ト人間ト生活ガ一體トナツテ居ル所ノ基本的ナル協同體デアリ、國民生活ノ根幹デアリマスカラ、法制上ノ問題トシテ之ヲ片付ケル筋合ノモノデナイ、同時ニ農林省ガ是ハ自分ノ部門デアルトカ、內務省ガ是ハ俺ノ繩張デアルトカ、厚生省ガ其處ハ自分ノ繩張デアルト云フヤウニ爭テ之ヲ解決スベキ問題デモナイノデアリマス、是ハ政府ト致シマシ

テ、特ニ米內閣ニ於キマシテハ、此ノ問題ヲドウ云フ風ニ解決スル御意思ヲ持ツテ居ラレルノデアルカ、少クトモ部落團體ダケハ、是ハ基本的ナ協同團體トシテ、單ナル法制上ノ問題デナク、根本的ナ立場カラ、此ノ際解決ヲ要スルノデアリマスガ、之ニ對シマスル政府ノ御所信ハ如何デゴザイマスカ、此ノ際承ツテ置キタイト思ヒマス

○兒玉國務大臣 部落ニ對スル御見解ハ私全然御同感デアリマス、地方制度ノ根幹トシテ、而シテ又國家カラ申シマスレバ、國家ノ單一細胞ト致シマシテ最モ大切ナル點ハソコニ存スルト考ヘテ居ルノデアリマス、而シテ只今御話ノ通りニ、部落其ノモノハ法制ニ依ツテ生レテ來タモノニアラズシテ、自然ノ關係ヨリ歷史的ニ發達シタモノデアリマスノデ、其ノ點ニ重キヲ置キマシテ部落ヲ考ヘナケレバナラヌト云フコトモ、御說ノ通りト考ヘテ居リマス、隨ヒマシテ最近部落ニ對スル重要性ガ認メラレルニ從ヒマシテ、各方面カラ如何ニシタナラバ部落ノ改善ガ圖ラレルダウカト云フ方針ノ下ニ、現在幾多ノ團體ガ茲ニ亂立スルト云フヤウナ弊ガナクハナイノデアリマシテ、是ハ將來部落ノ發達上最モ忌ムベキコトト考ヘテ居リマスノデ、之ガ統制致シマシテ一ツノ協議體組織ノモノニシテ、隣保共助ノ精神ニ基キマシテ部落ヲ指導シテ行クト云フコトガ根本ノ方針ト考ヘテ居ルノデアリマス、此ノ部落ノ整調ガ出來テ初メテ茲ニ市町村ノ完全ナル組織ガ出來、隨テ國家ノ再組織ハソコニ端ヲ發スルモノト考ヘテ居リマスノデ、此ノ問題ハ內務省トシテハ最モ重要ナルモノトシテ取扱ヒタイト考ヘテ居リマス

○西川委員 只今ノ内務大臣ノ御意見ハ、私共其ノ意ヲ得タモノト存ズルノデアリマス、即チ部落團體ハ何處マデモ之ヲ單一ノ協議體組織トシテ行クノデアアル、色々ノ部落團體濫立ノ弊ハ避ケテ行ク、斯ウ云フ方針ハ現内閣全體、詰リ政府全體ノ意思デア、斯様ニ解シテ宜シウゴザイマス、其ノ點ハ總理大臣カラ御伺ヒシタイト思ヒマス

○米内國務大臣 只今内務大臣カラ御答辯ノアリマシタ通り、是ハ内閣トシテノ考デアリマス

○西川委員 ソコデ更ニ私ハ御伺シタイノデアリマス、部落團體ヲサウ云フ風ニ御取扱ニナル方針ハ、此處デ政府全體ノ意思ガ明ニサレタノデアアル、然ルニ此ノ部落團體ニ生命ヲ與ヘ、活力ヲ與ヘルノニハ更ニ一歩ヲ進メテ考ヘナクテハナラヌ點ガアル、抑、部落團體ガ法制ヲ超越シ、事實關係ニ於テ存立致シ、活動致シテ居リマス所ノ根本ノ支柱ハ何處ニアツタカト申シマス、是ハ氏神ヲ中心トシ、共同ノ祖先崇拜觀念ヲ基礎トスル精神的ノ中心ガアツタノデアリマス、是ガナクテハ部落團體ニ生命ガナイ、活動力ガナイ、此ノ精神的ノ基礎ト、部落有財產ナルモノノ物的基礎ト、此ノ二本ノ支柱ニ依ツテ成立ツテ居ルノガ我國ノ部落團體デアツタノデアリマス、サレバ此ノ部落團體ハ、其ノ團體ニ居住スル者ノ生活ニ對シマシテ、其ノ固イ精神的結合ノ下ニ隣保共助ノ美風ヲ永ク發展シ、此ノ財產ニ依ル物的基礎ノ下ニ、互ノ共同生活ノ地盤ヲ築イテ來テ居ルノデアリマス、悲シムベシ、明治ノ末期頃ニ當リマシテ、地方ノ神社整理ノ方針ノ下ニ多クノ部落ニア

ツタ氏神ハ併合サレテ、爾來部落團體ハ其ノ據ルベキ精神的基礎ヲ缺イテ居ル、又内務省ハ部落有財產、即チ部落民ノ總有ニ歸シテ居リマシタ財產ヲ、法人デアアル所ノ市町村ノ財產ニ改編ヲ致シマシテ、部落存立ノ物的基礎ヲ取去ツテシマツタノデアリマス、今日部落ガ極メテ重要デアルコトヲ内務大臣ハ言明サレマシタガ、其ノ重要ナル部落團體ハ何ニ依ツテ今生キテ居ルノデアリマス、精神的中心ヲ失ヒ、物的基礎ヲ失ヒ、唯祖先カラ保チ來ツタ因習、傳統、其ノ小ヤカナル綱ニ縋ツテ生キテ來テ居ルノガ、只今ノ部落團體ノ現狀デアリマス、現内閣ガ只今内務大臣ノ言明サレタルガ如クニ、眞ニ部落團體ヲ國民の組織ノ基礎トシテ、基本的ノ協同體トシテ之ヲ確認サレマスナラバ、此ノ際部落團體ニ精神的基礎ヲ付與サレコトヲ考ヘラレナクテハナラヌ、之ニ對シマシテ内閣ハドウ考ヘテ居ラレマスルカ、ドウ云フ方法、ドウ云フ具體的施設ニ依ツテ精神的ノ地盤ヲ御與ヘナリマス、同時ニ又此ノ部落團體ニ物的基礎ヲ付與サレナクテハナラヌノデアリマス、是ハ此ノ劃期的ナル地方稅制ノ改革ニ當リマシテ當然考ヘラレナクテハナラヌ、是ハ當局ノ御答ニ先廻リスルヤウデアリマス、先程ノ御答ニ依ツテ、現在市町村ノ總有財產ハ、今後ノ財政運用ノ上ニ於テハ考ヘラレテ居ラナイノデアリマス、即チ市町村ノ總有財產ガナクテ市町村財政ノ運用ガ出來ルヤウニ、今度ノ配付稅ニ付テハ仕組ガ出來テ居ルカラ、此ノ際市町村ノ總有財產ヲ部落團體ノ總有財產トシテ還元セシメテ、部落團體ノ物的基礎ヲ確立スル意

思アリヤ否ヤ、又東北地方ニ於テハ、往年ノ部落團體ノ總有財產デアツタモノガ國有林ニ編入サレテ、多クモノガ國有財產ニナツテ居ルヤウデアアルガ、是等モ部落團體ニ活動力ト生命力ヲ付與スル限度ニ於テ、部落總有財產トシテ之ヲ還元シテ、部落ノ物的基礎ヲ確立スルノ意思ガアルカドウカ、此ノ二點ニ付テ具體的ニ明確ナル御答ヲ願ヒタイト思ヒマス

○兒玉國務大臣 部落ガ精神的結合ト經濟的結合ノ二ツニ依リマシテ、隣保共助ノ精神ノ下ニ今日漸次發達ヲ遂ゲテ居ルコトハ御説ノ通りデアルト思フノデアリマス、而シテ之ヲ形ノ上カラ申セバ、部落ガ一ツノ精神的統一ヲ何處ニ求メルカト言ヘバ、氏神デアラウト私ハ思ヒマス、現ニ地方ニ移住シテ居ル農民ガ何ヲ一番先ニ考ヘルカト言ヘバ、自分ノ尊敬スベキ氏神デ、此ノ氏神ヲ中心トシテ活動シテ居ルノデアリマス、其ノ有様ヲ見マシテモ部落ノ中心ノ精神的活動ノ基礎ヲ氏神ニ置クト云フ事柄ハ、最も必要ナルコトデアリ、其ノ點ニ重キヲ置クト云フ事柄ハ無論ノコトデアルノデアリマス、而シテ物的方面ニ於キマシテハ、是モ隣保共助ノ精神ヨリ致シマスルナラバ、御互ノ協議會費等ニ基キマシテ、御互ノ福祉ヲ増進スル爲ニ協議ヲシテ、ソレニ依ツテ部落全體ノ施設ヲ行クト云フコトガ、一番穩健ナコトデアナイカト思ヒマス、幸ニ部落ニ於ケル財產ガアリマスレバ、其ノ財產ニ對スル部落民ノ愛護ノ精神ヲ充滿シ、之ヲ有利ニ利用スルト云フコトモ考ヘナケレバナリマセヌ、唯今御話ノアリマシタ會テ部落總有デアツタ財產デ今日國有財產トナリ、國有林ニナツテ居ルモノヲ如何ニ處理スルカト云フコトニ付テハ、其ノ

一々ノ事情ニ付テ調査シテ見ナケレバ、一概ニ原則的ニ之ヲ部落ニ還元スルト云フコトヲ申上グルノハ稍、早計デアナイカト思フノデアリマス、併シ會テハ其ノ部落ノモノデアツタコト云フモノデ、ソレヲ部落ニ還元スルコトニ於テ相當ノ理由アルモノデアラナラバ、之ヲ部落ニ還元スルコトモ考ヘナケレバナラヌト思ヒマス、此ノ點ハ實際問題トシテ考究スル必要ガアルト思ヒマス、併シ御趣旨ニ對シテハ全然御同感ノ意ヲ表シテ置キタイト思ヒマス

○西川委員 部落團體ノ財政的基礎ハ、所謂協議會費等ニ依ツテ出シ合ツテ行クコトガ一番適當デアルト云フ御答デアツタガ、是ハ部落ヲ以テ國民生活ノ基本的協同體トスル考ヘ方トハ、其ノ觀念ニ於テ食違ツテ來ルノデアリマス、基本的協同體ハソコニ總有財產ガアツテ其ノ部落財產ニ屬スレバ、即チ其ノ財產ヲ利用スル權利ガアリ、脫退スレバ其ノ權利ヲ失フ、之ヲ分割シテ取ルト云フ權利ハナイ、斯ウ云フ所ニ此ノ基本的協同體ノ根據ガナクチヤナラヌ、其ノ意味ニ付キマシテハ、金ヲ出シ合ツテ行ク所謂協議會費等ハ適當デアナイノデアリマシテ、是ハ總有財產ヲ付與スルコトガナカツタナラバ、根本的ノ解決ハ出來ナイノデアリマス、此ノ點ハ特ニ内閣トシマシテ重大ニ御考慮ヲ希望シテ置キマス、以上ヲ以チマシテ内務大臣ニ對スル私ノ質問ハ終リマス

ソレデハ總理大臣ニ對シテ此ノ際御伺シタイト思ヒマス、總理大臣ニ對シマシテハ、實ハ大藏大臣トノ御立會ノ上デ大藏大臣ニ御尋致シマシテ、其ノ大藏大臣ノ結論ヲ前提トシテ、更ニ總理ノ御所信ヲ御伺ヲ致

ス順序ナノデス、然ルニ大藏大臣ノ方ノ色
色ナ御都合モアリマシテ、特ニ議事ノ進行
上ノ都合モアリマス、實ハ大藏大臣ニ
御尋致シマスル部分モ亦總理ニ御尋致サ
ナクチャナラヌヤウナ運ビニナツタノデア
リマス、左様御承知ヲ願ヒタイノデアリマ
ス、今回ノ稅制改革ニ依リマスルト、此ノ
大増稅ヲ以テサレマシテモ、今後ニ出テ來
ルデアラウ所ノ追加豫算ノ財源等ト見合ヒ
マスレバ、前年ヨリハ遙ニ赤字公債ノ増大
ヲ來スノデアリマス、今回劃期的ナ大増稅
ガ行ハレタ其ノ結果ニ於テハ、國民負擔ノ
均衡ヲ圖ルト云フコトモ一ツハ期待致シマ
シタガ、今一ツノ大キナル期待ハ、累年赤
字ニ次グニ赤字公債ヲ發行致シテ居リマス
ル、我國ノ財政ヲシテ、事變關係ノ臨時軍
事費ハ是ハ致シ方ガアリマセヌケレドモ、
少クモ一般會計ニ於テハ、此ノ際財政ノ前
途ニ一ツノ見透シヲ付ケタイ、財政ノ基礎
ヲ確立シタイト云フ希望ヲ持ツテ、此ノ稅
制改革ヲ迎ヘタノデアリマスルガ、此ノ豫
算ノ表面ニ於テハ是ハ裏切ラレテ居ルノデ
アリマス、ガ問題ハ單ニソレダケデヤナイ
ノデアリマス、大藏大臣ノ御答辯ニ依リマ
スルト、第一ニ將來租稅ノ自然増收ハ相當
額ヲ見込ミ得ルケレドモ、一方公債ノ利子
及ビ恩給年金ノ自然増加ガ著シク大デアル
カラ、稅收入ノ自然増加ヲ以テシテハ公債
利子、恩給年金ノ自然増加ヲ償フニ足リナ
イト云フコトヲ、明ニ大藏大臣ガ答辯サレ
タノデアリマス、即チ自然増收ハ恩給年金
及ビ公債ノ利子ダケデモウ足りナイ、然ル
ニ更ニ重大ナルコトハ、明年度ノ豫算編成
ニ當ツテハ基準物價ヲ改訂シナクチャナル
マイ、其ノ基準物價ガ改訂サレテ明年度ノ

豫算ヲ編成サレマスルナラバ、物價高ニ依
ル自然膨脹ノ相當ノ金額ガ豫算面ニ現ハ
レテ來ルデアラウコトヲ吾々ハ覺悟シナク
チャナラス、又更ニ財政全般ヲ見透シマシテ、
時局柄當分ノ間歲出ノ減少ハ期待シ難イ、
更ニ一番重大ナル點ハ、支那事變臨時軍事費特
別會計ノ打切後ニ於テモ、此ノ特別會計カ
ラ一般會計ニ引繼ガレルモノガ相當金額ニ
上ルデアラウト云フコトヲ、大藏大臣ハ言明
ヲサレテ居ル、サウ致シマスルト増稅ハ當
分ノ間ハヤラナイ積リデアルト云フ言明モ
一面ニハアツタノデアリマスルガ、若シサ
ウデアルトシマスルナラバ、既ニ自然増收
ヲ以テハ單ナル公債利子及ビ恩給年金ノ自
然膨脹サヘモ賄ヒ切レナイト云フ狀態ニ於
テ、尙ホ物價高ニ依ル自然ノ増加、尙ホ臨
時軍事費特別會計ノ中カラ將來一般會計ニ
入ツテ來ル所ノモノ、是等ノ財源ハ一體何
ニ求メルノデアルカ、茲ニ非常ニ大キナ觀
點ニ立ツテ財政ノ根本ヲ確立シナイト、我
國ノ財政ノ將來ハ洵ニ暗澹ト言ハザルヲ得
ナイ、近年我國ニハ諸方面ニ不安ノ空氣ガ
漂ツテ居リマスガ、其ノ不安ノ氣分ノ發ス
ル所ハ、此ノ財政ノ前途ニ對スル見透シガ付
カナイ所ニ在ル、我國ノ政局ガ動搖致シマ
スル根本ノ原因モ亦本質ガ其處ニ見出ダサ
レルコトヲ吾々ハ認識セザルヲ得ナイ、此
ノ認識ノ上ニ立ツテ此ノ財政ヲ解決スル能
力ナキ者ハ、今日ノ時局ハ解決出來ナイ、
此ノ經綸ナクシテハ輔弼ノ重責ハ果セナイ
ト私共ハ固ク信ジテ居ル、米內總理大臣ハ
如何ナル具體の方策ヲ以テ此ノ難局ノ解決
ニ當ラレルノデアルカ、米內總理ガ大命ヲ
拜受サレマシタ其ノ心境ト覺悟ノ程ヲ茲ニ
御披露ヲ願ヒタイノデアリマス

○米內國務大臣 御答ヲ致シマス、目下支
那事變ヲ中心ト致シマシテ、時頗局ノ重大
デアルト云フコトハ申スマデモゴザイマセ
ス、此ノ時局ハドウシテモ乗切ツテ行カナ
ケレバナラス、ソレガ爲ニハ、既ニ施政方
針ニ於キマシテ申上ゲマシタ通り、軍備ノ
充實モヤラナケレバナリマセヌ、國民ノ精
神ヲ昂揚スル有ユル手段ヲ講ジナケレバナ
リマセヌ、又生産力ノ——經濟力ノ發展ト
云フコトモ考ヘナケレバナリマセヌ、又一
面ニ於キマシテハ戰時國民生活ノ保障ト云
フコトモ考ヘナケレバナラスノデアリマシ
テ、是等ハ總テ先般衆議院ノ御協賛ヲ得マ
シタ所ノ金デ賭ツテ行カナケレバナラスノ
デアリマスガ、只今御話ノヤウニ一體増稅
増稅デ、ソレデモ行カヌヤウナ狀況ニ於テ
將來ドウスルカ、斯ウ云フ御質問ダト思フ
ノデアリマス、此ノ前モ慥カ此ノ席申上
ゲマシタ通り、今回ノ増稅案ハ伸縮性ヲ持
ツテ居ルノデアリマシテ、將來ドウシテモ
イカヌト云フ場合ニハ、又其ノ稅法ノ改革
ヲ基礎ト致シマシテ、尙ホ國民ニ遺憾ナガ
ラ負擔ヲ要求シナケレバナライカトモ考
ヘルノデゴザイマス、何レニ致シマシテモ
此ノ解決ヲ物心兩面カラ考ヘル必要ガアル
ト自分ハ思ツテ居リマス、固ヨリ物ト心ト
ヲ切離シテ考ヘル譯ニハ行キマセヌガ、先
ヅ物ノ方カラ言ヒマス、先般御協賛ヲ得
マシタ所ノ豫算ニ依リマシテ、是ハ賄ツテ
行ケルト云フ確信ノ下ニ將來進ンデ行キタ
イト考ヘルノデアリマス、ソレカラ尙ホ又
心的方面カラ考ヘマスルト、是ハ色々問題
ガ絡ンデ參リマスルガ、詰リ澁滞ナク國務
ヲ遂行シ、サウシテ其ノ能率ヲ擧ゲル爲ニ
色々機構ノ改革ト云フコトモ考ヘラレマス、

又屢、申上ゲマシタ通り、機構ヲ改革致シマ
シテ能率ガ舉ガルト云フコトナラバ、是ハ
ドン／＼ヤラナケレバナラス、又一面ニ於
キマシテ機構ヲ改正セヌデモ行ケルモノハ
其ノ儘ニ致シテ行クベキデアリマスガ、何
レニシテモ此ノ機構ノ運営ヲヤリマス爲ニ
ハ、心的ノ要素ト云フモノガソコニ非常ナ
力ヲ持ツノデアルト考ヘルノデアリマス、
例ヘテ申シマスルナラバ省自體ト致シマシ
テハ上下ノ統一ヲ明確ニ致シ、又他省トノ關
係モ連絡ヲ緊密ニ致シマシテ、其ノ間ニ何
等ノ遲滞ナク、澁滞ナク能率ヲ擧ゲルト云
フコトヲ考ヘナケレバナラスト思フノデア
リマス、是ガ爲ニハ屢、議題ニナリマスル所
ノ官吏制度ノ改革ト云フコトモ關聯シテ參
リマス、斯ノ如ク考ヘマス、機構ノ改變、
ソレニ伴フ運用ノ如何ニ依ツテ、マダノ
能率ヲ擧ゲ得ル餘地ガ十分ニアルト考ヘテ
居ルノデアリマシテ、此ノ點ニ關シテハ官
吏制度其ノ他ノコトヲ考ヘマシテ、全般的
ニ如何ニシテ能率ヲ擧ゲルト云フコトヲ
十分ニ考ヘテ善處シナケレバナラスト考ヘ
テ居ルノデアリマス

尙更ニ國民精神ノ昂揚ト云フコトニ付キ
マシテハ、是ハ全般的ニ必要ナコトデアリ
マシテ、是ハドウシテモ國民精神ノ昂揚ニ
依ツテ此ノ時局ノ突破ヲ圖ラナケレバナラ
ヌ、是ガ爲ニハ先般申上ゲマシタ通り、
國民精神總動員ノ機構ト云フモノヲ、國民
ヲ基調トスル強力ナルモノニ致シマシテ、
愛國心ヲ喚ビ起シ、五ノ力ノアルモノヲ精
神ノ昂揚ニ依ツテ十ノ力トシ、斯ノ如クシ
テ時局ヲ乗切ツテ行カナケレバナラス、斯
ウ考ヘテ居ルノデアリマス、是ハ例デアリマ
スルガ、戰爭ニ於キマシテ人間ノ力ハ精神

力ニ依ツテ非常ニ左右サレルノデアリマス、例ヘテ申シマスルト、八時砲ノ彈丸ト云フモノハ、平時普通ノ人間デハ持上ゲルコトハ出来マセヌケレドモ、是ガ戰爭ノ場合デアリマス、易々ト持ツテ行ケルノデアリマス、ソコガ國民精神ノ昂揚ヲ高調スル非常ナ理由ニナルノデアリマス、斯ノ如ク致シマシテ、物的方面ニ於キマシテモ、又心的方面ニ於キマシテモ之ヲ相互相關聯シテ考ヘマシテ、機構ノ改正スベキモノハ改正シ、又現在ノ機構ニ於キマシテモ其ノ運營宜シキヲ得ルヤウニ人ノ心ヲ改メマシテ、サウシテ能率ヲ擧ゲルト云フコトニ全力ヲ注ギ、又最後ニ申上ゲマシタ全般ノ國民ノ精神ヲ昂揚致シマシテ、能率ヲ彌ガ上ニモ高メテ此ノ時局ヲ突破スル有エル手段ヲ講ジナケレバナラス、斯ク致シマスレバ、此ノ時局ヲ突破スルコトガ敢テ難事デハナイ、其ノ趣意ニ依ツテ總テノ國政ヲ指導シテ行カナケレバナラス、斯ウ云フ決心デ居リマス

○西川委員 私ハ物ノコトヲ聽イテ居ルノデナイ、心ノコトヲ聽イテ居ルノデアリマセヌ、官吏制度改革ノコトヲ聽イテ居ルノデモナケレバ、國民精神總動員ノコトヲ聽イテ居ルノデモアリマセヌ、私ハ唯財政ノコトヲ聽イテ居ル、此ノ財政ノ矛盾ヲドウシテ解決サレルカ、其ノ具體的方策唯一ツノ點ヲ聽イテ居ルノデアアル、其ノ所謂物心兩面カラ御考ニナリマシテ、行政機構ノ改革ヲ御考ニナリ、國民精神ノ昂揚ヲ御考ニナリマス、豫算委員會其ノ他御質問ガアツタデゴザイマセウ、私ハ此ノ委員會ニ於テ左様ナコトヲ御聽キシヨウトシテ居ルノデアリマセヌ、此ノ委

員會ニ於キマシテハ、私共ハ此ノ稅制改革案ヲ審議スルニ當リマシテ、絕對的ニ明ニセズンバ吾々ノ義務ガ濟マナイ所ノ我國財政ノ前途ニ對シマシテ、此ノ收支ノ均衡ヲ如何ニシテ確立サレヨウトスルノデアアルカ、ソレノミヲ私ハ御聽キシテ居ルノデアリマスルカラ、左様ニ御考ニナツテ他ノ問題ハ此處デ私ハ御答辯ヲ聞カウトシテ居ルノデアリマセヌ、サウ云フ建前カラ御答ヲ願ヒタイ、サウ云フ意味ニ於キマシテ、只今ノ總理ノ御答辯中ニハ斯ウ云フ一點ノ答辯ガアリマシタ、將來或ル時期ニ於テハ、國民ニヨリ以上ノ負擔ヲ願ハナクテハナラスコトガアルカモ知レヌ、此ノ言葉ハ前回ノ言葉ト只今ノ御答辯ト少シ意味ガ變ツテ來タノデヤナカト思フ、即チ前回ニ於キマシテハ、總理ノ答辯ハ櫻井委員ノ質問ニ對シマシテ、尙ホ時局重大性ヲ加ヘマシテ、更ニヨリ大ナル負擔ヲ國民ガ負ハナケレバナラスト云フヤウナ情勢ニ立至リマシテモ、國民ハ其ノ負擔ニ堪ヘ得ルコトヲ自分ハ確信シテ居ル、今回ノ稅制改革モ、斯ル事態ニ立至リマシタ場合ニ容易ニ増收ヲ圖リ得ル仕組ニナツテ居ルト考ヘテ居リマス、斯様ニ御答ニナツタ、ソコデ「尙ホ時局重大性ヲ加ヘマシテ」ト云フ、此ノ時局重大性ト云フ意味ハ、當時私共ハ斯ウ云フ風ニ解釋シタ、支那事變ヲ中心トスル時局ノ重大性ハ既定ノ事實デアリ現下ノ事實デアリマス、將來ヨリ以上ニ時局重大性ヲ加ヘルト云フコトハ、具體的ニ率直ニ言ヒマスルナラバ、或ハ英佛其ノ他ノ國ニ戰端ヲ開キ、或ハ「ソ」聯トノ間ニ戰端ガ開カレタ、具體的ニサウ云フヤウナ時局ノ重大性ヲ當時意味サレタモノト私ハ解シタノデアリマス、

詰リ現在ノ時局ガ上リ道デアリマシテモ、下リ道デアリマシテモ、一ツノ平面ヲ進ムノデハナクシテ、ソコニ斷層ガアル、時局ノ斷層のナ事態ガ惹起シマシタ時ニ増稅ヲ考ヘラレル、其ノ増稅ヲスルコトモ此ノ稅制ニ於テ出來ルト云フ風ニ御答ニナツタモノト私ハ考ヘテ居ル、櫻井委員ノ質問ハサウ云フ意味ニ於テ質問サレタト吾々ハ考ヘテ居ル、所ガ事實ハサウ云フ斷層のナ時局ノ變動ニ差掛ラズトモ、此ノ現下ノ情勢其ノモノノ前途ガ、此ノ儘デハ行ケナイコトニナツテ居ル、私ガ囊ニ指摘シマシタ藏相ニ答辯ニ依ツテソレガ明カナノデアアル、既ニ將來ノ總理ガ前ニ言ハレマシタ斷層のナ一ツノ時局ノ變動ニ備ヘルノデハナクシテ、現下ノ情勢ガ此ノ稅制ノ改革ダケデ詰リ此ノ財政政策ニ依ツテハ突破出來ナイ情勢ニアルノニ對シマシテ、ドウ云フ對策ヲ以テ之ヲ乗切ラウトサレルノデアアルカ、他ノコトハモウ此ノ際私ハ御聽キ致シマセヌ、唯財政ダケノ見地カラ一ツ御答辯ヲ願ヒタイ

○米內國務大臣 稅ノ自然増收デ公債利子トカ、或ハ年金、恩給ノ自然増收ヲ賄ヘルカドウカト云フコトハ、年ニ依ツテ異リマス、成ベク賄ヘル程度ノ自然増收ヲ期待シタイ、斯ウ云フノデアリマス、ソレニ今回ノ増稅ハ財政上必要ナ最小限度ノモノデアリマシテ、此ノ程度ヲ以テ致シマスレバ、當分ノ間ハ財政ヲ賄ツテ行ケル、斯ウ云フコトデアリマス、併シ特別ナ時代ノ變化ガアリマスレバ、此ノ前ニモ申上ゲマシタ通り、再増稅モ已ムナイト思フノデアリマスケレドモ、サウ云フコトガナイヤウニ希望ハ致シテ居ル次第デアリマス

○西川委員 自然増收ノ見込ニ付テ、極メテ事務的ナ立場カラ曩ノ大藏大臣ノ答辯ヲ支持サレマシタ、斯ウ云フヤウナ技術的ナ見解ニ立チマシテハ、私共ハ總理ノ言ナルガ故ニ大藏大臣ノ言ヨリモ重シト考ヘル譯ニハ行カナイ、サウ云フ技術的ナコトハ大藏大臣ノ言ハレル方ガヤハリ本筋トシテ見ナケレバナラスト思フ、總理ノ立場ハ是デハ濟マヌト私ハ思フ、サウ云フ事務的ナ問題ヲ捉ヘテ此ノ際ノ答辯ニ當ラレル、又サウ云フコトデ總理ニ答辯サセル人ノ心事ハ甚ダ陋劣ト私ハ思フノデアリマス、而モ其ノ自然増收トカ何トカト云フ小サナ問題デハアリマセヌ、自然増收ハ全部デ幾ラカ、自然増收全部デ幾ラト考ヘテ居ル、ソシナ問題デハアリマセヌ、現在既ニ十六七億或ハ十八億ニモ上ルカモ知レナイ赤字公債、是ハ赤字公債デスヨ、臨時軍事實費ノ公債デハアリマセヌ、ソレヲ餘儀ナカラシメテ居ル所ノ現在ノ財政ノ上ニ、私ガ先ニ大藏大臣ニ對スル質問ノ結論ヲ讀ミマシタ此ノ重大ナル歳出ノ増加ガ加ツテ來ルノデス、即チ物價基準ノ改訂ニ依ル増加、支那事變ノ、現在ハ軍事實費ノ中ニ含マレテ居ルケレドモ、是ハヤハリ一般會計トシテ平時ノ財政ノ中ニ是ガ繰込マレナケレバナラスデアラウト云フ大キナ事態、此ノ事態ニ備ヘル爲ニハ、斯ウ云フ小手先ノ細工デハ駄目ナデデアリマス、大臣ノ後口ノ方ノ事務當局ガドンナ事ヲ書イテ御出シニナリマシテモ、ソレハ承知シマセヌ、左様ナコトヲ問ウデ居ルノデハナイ、サウ云フ生ヤサシイ時局デヤナイノデス、只今總理大臣ハ、現在ノ時局ハ支那事變ヲ中心トシテ重大化シテ居ルト言ハレマシタガ、私ハ必ズシモ支

那事變ヲ中心トシテ重大化シテ居ルノデハ
ナイト思フ、日清戰爭ノ時局、日露戰爭ノ
時局ト云フモノハ、戰爭ト云フ意味ニ於キ
マシテ、又我國ノ國力カラ致シマシテ、或
ハ支那事變ヨリ以上ノ大戰爭デアリ、ヨリ
以上ノ有ユル方面カラ見マシテ時局デアッ
タカモ知レマセヌガ、併シ其ノ時ニハサウ
云フ事變ト云フ現象ヲ外ニ致シマシテ、世界
的ナ社會ノ基本ガマダ健全デアッタノデス、
所謂資本主義社會ナルモノガ健全デアリ、
發展過程ニアッタノデス、然ルニ現在ハ支
那事變ノ起リマスル前カラ赤字財政ヲ必至
ト致シテ居ツタ、其ノ赤字財政ヲ必至トシ
タ情勢ハ何處カラ起ツタカト申シマスルト、
資本主義經濟ノ內在的矛盾カラ發シテ居ル
ノデス、之ヲ把握シナケレバナラス、此ノ
根本的ナ時局認識ノ上ニ立タナクテハ、此
ノ時局ノ打開ノ途ハアリマセヌ、政府ハ屢
國民ニ對シテ時局ノ認識ヲ唱ヘラレマスル
ガ、政府諸公ノ時局ノ認識ハ果シテ如何、
總理大臣ノ時局ノ認識果シテ如何、私ハ總理
大臣ニ答辯ヲ要求致シマシテモ、満足ナ答
辯ハ得ラレナイカモ知レマセヌ、所謂事務
當局ノ考ヘ方ヲ總理ノ口ヲ通シテ答ヘラレ
ルヤウナ答辯ハ要求致シマセヌ、唯申上ガ
テ置キマス、現在ノ吾々ガ審議シヨウト致
シテ居リマスル稅制改革、其ノ稅制改革案
ノ背景ニシテ居リマスル所ノ我國ノ財政狀
態ハ、幕末ニ於ケル財政狀態ト極メテ似テ
居ルノデス、幕末ニ於テ如何ナル現象ガア
ツタカ、幕府財政ハ、年々所謂增稅ニ次グニ
增稅ヲ以テ致シマシテモ、尙ホ歲出ヲ賄フ
能ハズ、負債ニ負債ヲ重ネテ賄ウテ居リマ
シタガ、ソレダケナラバ胡麻化シガ付イデ
居ツタケレドモ、「ペルリ」ガ消費ノ沖ニ一發

ノ砲聲ヲ放チ、外患迫リ來ツテ國防計畫ノ
爲ニ多大ノ經費ヲ必要トスルニ至リマシテ
ハ、ドウシテモ胡麻化シガ付カクナツテ、
外患ニ備ヘル爲ニハ、國防充實ヲ圖ラナケ
レバナラス、サナキダニ弱體化シタル幕府
ノ財政ニ重壓ニ重壓ガ加ツテ、之ヲ打開ス
ル所ノ方法ガナイ、小栗上野之介ノ如キ手
腕ヲ以テ致シマシテモ、井伊大老ノ專制力
支配ヲ以テ致シマシテモ、如何トシテモ此ノ
時局ガ乗切レナイ、一面ニ倒幕運動ガ起リマ
シタガ、寧ろ私ハ倒幕運動ニ依ツテ幕府ガ倒
レタト云フヨリモ、此ノ財政狀態ニ挾撃サ
レテ、幕府ハキリ／＼舞フシテ倒レタノデ
アルト認識シテ居ル、現在ノ時局ハヤハリ
其ノ點ニ似タモノガアル、共通ノモノガアル、
即チ茲ニ私共ハ國ノ財政ガ行詰ツテ居ルト
ハ申シマセヌ、現狀ノ如キヤリ方ガ行詰ツ
テ居ルト云フノデ、一タビ明治維新政府ニ
於キマシテ新シイ建前ノ下ニ、新シイ構想
ノ下ニ財政計畫ヲ立テマシタナラバ、國民
生活ヲ壓迫セズ、租稅ノ負擔ハ輕減サレテ、
産業ハ大イニ興ツテ、國防ハ充實シテ、國
力ハ飛躍的ニ發展シテ、而シテ財政ノ均衡
ハ確立出來タ、サウ云フ方法ガ現在モアル
ノデス、サウ云フ方法ヲ私共ハ持ツテ居ル
ノデス、私共ハサウ云フ具體的方策ヲ持ツ
テ居ルノデアリマス、然ルニサウ云フ具體
的方策ヲ行フコトノ出來ナイ情勢、此ノ時
局ヲ眞劍ニ認識シテ、其ノ具體的方策ヲ以
テ、本當ニ國難ヲ突破スルコトノ出來ナイ
ヤウナ現在ノ政治情勢ニ付キマシテハ、私
ハ總理大臣ノ深甚ナル御考慮ヲ煩バシタイ
ノデス、私ハ更ニ一問一答的ニ御伺フシタ
イト思ヒマスケレドモ、サウ云フコトヲ致
サナイ方ガ宜イデゴザイマセウカラ、甚ダ

追究ガ足リナイト云ウテ叱ラレルカモ知レ
マセヌケレドモ、私ハ此ノ上追究ハシマセ
ヌ、併シ總理大臣ノ認識、所信、是ハ十分ニ
此ノ際ニ私ガ只今申上ゲマシタルコトニ即
シテ、總理大臣自身ノ肚デ、ソレハ私共渺タル
議員デアリマスケレドモ、此處ニ立チマシ
タカラニハ、總理大臣ト私共ハ話ヲシタイ、
他ノ方トハ他ノ機會ニ話ヲスル機會モアル、
總理大臣ノ肚ニ於テ此ノ時局ニ對スル認識
ヲ明ニシテ戴キタイ
○米內國務大臣 段々ノ御話ヲ承ツテ居リ
マスルト、如何ニモ我國ノ財政ト云フモ
ノガモウ破綻ニ近イヤウナ風ニ聞エルノデ
アリマスガ、私ノ考ト致シマシテハ、我國
ノ財政ト云フモノハサウ行詰ツテ居ラスト
云フコトヲ、確信ヲ以テ一言御答ヲシテ置
キタイト思ヒマス
○西川委員 サウ云フ答辯デアリマシタナ
ラバ、私ハ更ニ御伺シナケレバナリマセヌ、
私ハ破綻ニ瀕シテ居ルト云フヤウナコトハ
決シテ言ヒヤシマセヌ、破綻ニ瀕シテ居ル
トカ、我國ノ財政ガ非常ニ行詰ツテ居ル、
破綻ニ瀕シテ居ルト云フヤウナコトヲ言ヒ
ヤシマセヌ、私ハ現在ノヤウナ增稅政策ヲ以
テシテモ、尙ホ赤字公債ノ累増ヲ免レルコ
トハ出來デハナイカ、幾ラデモ借金シテ
行ケバ宜イノダト仰セラレルナラバ、ソレ
ハ一ツノ答辯デアリマス、破綻ニ瀕スルヤ
ウニ言フガ、自分ハサウ破綻ニ瀕スルヤウ
ニ思ツテ居ライナト確信シテ居ルト云フ御
答辯デアリマシタケレドモ、私ハ左様ナコ
トヲ申シテ居リマセヌ、唯私共ハ、今審議
シテ居ル此ノ增稅案ヲ以ツテシテモ、赤字
公債ヲ減スコトノ出來ナイ此ノ事態ニ對シ
マシテ、之ヲドウスルカト云フ現實ノ問題

ニ付テ、私ハ御尋シテ居ルノデス、此ノ增
稅政策ダケデ行ケルカ、現在ノ建前ノ如キ
財政政策ヲミデヤツテ行ケルカト云フコト
ヲ御聽キシテ居ルノデアリマス、私ハ我國
ノ財政ガ破綻ニ瀕シテ居ル、非常ナ悲觀的
ナ見方ヲシテ居ルヤウナ考ハ持ツテ居ラナ
イノデアリマス、私ハ非常ニ樂觀シテ居ル、
私共ハ一ツノ計畫ヲ持ツテ居ルカラ非常ニ
樂觀シテ居ル、サウ云フコトハ一ツ認識ヲ
是正シテ貰ヒマセヌト、私ノ一身上ノ立場
ニモ困ル、サウ云フ風ニ御取リニナライ
デ、現實ノ增稅案ヲ吾々ハ審議シテ居ルノ
デアリマスカラ、其ノ立場カラ御答ヲ願ヒ
タイノデアリマス
○堀切委員長 大藏大臣ガ見エマシタガ、
大藏大臣ニ關聯シテ如何デスカ
○西川委員 總理大臣ハ答ヘナイノデス
カ——ソレデヤ只今ノ答辯ヲ御取消願ヒタ
イ、御取消ヲ願ヒマシタナラバ、只今ノ質
問ハ致シマセヌ、先刻ノ御答辯ダケヲ御取
消願ヒタイ
○米內國務大臣 ドノ點デアリマスカ
○西川委員 私ガ我國ノ財政ガ破綻ニ瀕シ
テ居ルヤウニ言ウタト仰シヤルガ、私ハ我
國ノ財政ハ破綻ニ瀕シテ居ルト云フ風ニハ
言ヒマセヌ
○米內國務大臣 私ガサウ段々話ヲ聽イタ
ノデアリマス
○西川委員 イヤサウデヤアリマセヌ、ソ
レデヤ私ノ……
○米內國務大臣 行詰ツテ居ラスト云フコ
トダケハ申上ゲテ置キタイト思ヒマス
○西川委員 行詰ツテ居ラス、ソレデヤサ
ウ云フ風ニ御答ニナルナラバ、益、コデレ
テ來ルカモ知レヌ……

○米内國務大臣 難カシイコトニナリマス
ケレドモ、アナタノ御説ヲ段々聽イテ居ル
ト云フト、サウ云フ風ニ聞エタト云フコト
ヲ私ハ申上ゲタノデアリマス、併シ我國ノ
財政ハ少シモ行詰ツテ居ラス、斯ウ云フ御
答辯ヲシタイ

○西川委員 總理大臣ハ、私ガ我國ノ財政
ガ行詰ツテ居ルヤウナ風ニ言ウタト御取リ
ニナツタガ、サウハ自分ハ言ツタトハ思ハ
ナイ、併シ私ハ行詰リノ問答ヲシテ居ル譯
デハナイ、詰リ此ノ稅制改革案ノ實現後ニ
於テモ赤字財政ハ減ラナイ、累増スル、斯ウ
云フ財政狀態ヲドウ云フ方法ヲ以テ打開ニ
ナルカ、ドウ云フ御用意ガアリマスカト云
フコトヲ御尋シタノデアリマスカラ、ソレ
ニ對スル御答ヲ願ヒマス

○米内國務大臣 サウ云フ點ニ付キマシテ
ハ、大藏大臣ガ見エマシタカラ大藏大臣カ
ラ御答辯申上ゲマス

○西川委員 大藏大臣ノ之ニ對スル御答辯
ハ前回アリマシタカラ、私ハ其ノ御答辯ニ
基イテ更ニ御質問致サウト思ヒマスガ、私
ハ實ハ最後ノ結論ヲ總理大臣カラ聽キタカ
ツタノデアリマス、總理大臣カラ大藏大臣ニ
讓ツテノ意味ノ質問デハナイノデアリマス
カラ、其ノ上ハ申上ゲマセヌ、大藏大臣ノ
先日ノ御答辯ハ、將來租稅ノ自然増收ハ、
公債ノ利子及ビ恩給年金ノ自然増加ヲ償フ
ニ足リナイト云フ見込デアツタ、此ノ御見
込ハ或ハ十分ニ償ウテ餘リアルト云フコトニ
ナルカ、ソレハ或ハ相當ノ變化ガアリ得ルト
思フノデアリマスガ、尙ホ明年度ノ豫算編
成ニ當ツテハ、基準物價ヲ改訂シナケレバ
ナルマイト云フヤウナ御答辯ガアツタヤウ
ニ伺フノデアリマス、隨テ基準物價ノ變化

ニ依リ歲出ノ自然的ノ膨脹ガ豫算面ニ現ハ
レテ來ルト思フノデアリマス、尙ホ支那事
變ノ特別會計ヲ打切りマシテモ、其ノ中カラ
モ相當一般會計ノ方ニ入ツテ來ルモノガア
ルト思ハナクテハナラス、是等ニ對スル藏
相ノ御意見ハ、努メテ無駄ヲ排除シテ政費
ノ節約ヲ圖ルト云フコトガ御答辯ノ一ツデ
アツタと思フ、努メテ無駄ヲ排除サレマシ
テ、政費ノ節約ガドノ程度圖リ得ルカ、是
ハ私ハ餘リ多クヲ期待スルコトハ出來ナイ
ノデハナイカト思フ、現在相當多クノ無駄
ガ此ノ豫算ニ計上サレテアツタトシマスル
ナラバ兎モ角、此ノ豫算ヲ提出サレマシタ
ル所ノ大藏大臣トシテ、左様ナコトハ御認
メニナツテ居ラナイト思ヒマス、尙ホ實際
主計局長ハ中々金ハ出シマセヌ、十分金ヲ
出サズ半端ノ金ヲ出スカラ其ノ目的ヲ達成
セズ、無駄ナ結果ニナルト云フヤウナモノ
ガ可ナリアルト云フコトヲ私共思フテ居リ
マスケレドモ、主計局長ハ中々辛イノデス、
此ノ點ハ大藏大臣ハ衆議院議員ト致シマシ
テ、オ互ト一緒ニ陳情ニ行カレタコトモア
ルデアリマセウカラ御存知デセウガ、中々
出シテ呉レマセヌ、寧ロ實行豫算ト云フヤ
ウナ場合ニ、當局ガ無駄ト見テ落シマスル
ノハ、私共ガ是非一ツ之ヲ入レテ呉レナク
テハナラス、吾々ガ苦心慘憺シテ陳情シテ
漸ク入ツタモノガ、議會アタリデ——ドウ
モ此ノ間モア、云フ決議ガ附イデ居ルノデ
アリマシテ、私ガサウ云フコトヲ言フノハ
變デアリマスケレドモ、サウ云フ無駄ヲ排
除セヨト云フヤウナコトヲ言ヒマス、吾
等ノ希望スル所ガ兎角落チテ來ル、サウシ
テ實際ノ無駄ノ排除ニ依ツテ相當政費ノ節
約ヲ圖ルト云フコトハ容易デナイト思ヒマ

ス、ソレカラ又今日國費ヲ投ジテ置ケバ、
將來日本ニ於テモ、滿洲ニ於テモ、支那ニ於
テモ、大イニ國利國益ヲ増進スルコトガ出
來ルカラ、前途ニ心配ハナイト云フ御意見
デアツタ、ソレハ其ノ通りデアリマス、又
此ノ點ハ私共十分ニ考ヘテ居リマス、私ハ
先刻財政ノ前途ニ非常ニ樂觀的意見ヲ持ツ
テ居ルト云フコトヲ、念ノ爲ニ總理ニ申上
ゲマシタコトモ、今日投ジテ居リマス軍事
費ガ將來非常ナル國利國益ヲ齎シ、我國ノ
國力伸張ニ役立ツモノデアルト云フコトヲ
確信シテ疑ヒマセヌ、併シナガラ是等ニ依
ツテ培養サレマス國利國力ガ、此ノ稅制ニ
依ツテ政府ノ財政ニ流レ込シテ來ルカハ、
政府ノ收入ニ流レ込シテ來ルカドウカハ、
是ハ疑問デアリマス、ソレニハ新シイ機構
ヲ必要トスル、新シイ一ツノ財政ノ建前ヲ
必要トスル、ソコデ唯今日國費ヲ投ジテ置
ケバ、將來ノ國利國益ガ増加スルカラソレ
デ心配ハナイト云フノハ、是ハ一ツノ全體
的ナ考ヘ方トシテハ私共同感デアリマスケ
レドモ、其ノ國利國益ガ總テ政府ノ歳入ノ
増加トナツテ現ハレル一ツノ新ナル工夫
ヲ茲ニシナケレバナラス、先刻モ私申シマ
シタガ、幕末ニ於ケル幕府財政ノ仕組ガ不
合理デアツタガ爲ニ、アノ時ノ國力ノ發展
ニ伴ヒ得ナカツタヤウニ、ソコニ新ナル
一ツノ仕組ヲ必要トスル、其ノ財政ノ建前
ハ何處マデモ日本ノ國體ニ即シタ、丁度明
治維新ニ於テ、我が國體ニ基ク精神ガ顯現
シテアノ新ナル所ノ制度ヲ生ミ出シタヤ
ウニ、茲ニ更ニ我が國體ニ基ク精神ヲ深ク
考ヘマシテ、新シキ工夫、構想ヲ運ラシメ、
此ノ國力ノ發展ガ政府歳入ノ増加トナルヤ
ウナ一ツノ構想ヲ考ヘナケレバナラス、此

ノ用意ガ絕對ニ必要デアルト私ハ考ヘルノ
デアリマス、其ノ用意ガ此ノ内閣ニオアリ
デアルカドウカラ御尋スルノデアリマス
次ニ赤字公債ニ對シマシテ、是ハ必ズシ
モサウ惡イモノデハナイト云フ御意見デア
ツタノデアリマス、私モ亦サウ云フ意見ヲ
會テ持ツテ居ツタ、私共ハ赤字公債ニ對シ
テ、赤字公債ガ一ツノ生産的意味ヲ持ツト
云フ風ナ考ヘ方ニ於キマシテハ、非常ニ早
クカラ私共之ヲ唱道致シテ居ル、昭和四五
年ノ頃カラ私共ハソレヲ社會ニ發表シテ居
ル、ソレハドウ云フ意味デアルカト申シマ
スルト、其ノ時ノ國內ノ經濟事情、産業事
情ニ於キマシテ、生産力ガ一種ノ休眠狀態
ニアリ、勞働力ガ餘ツテ居ル、所謂過剩勞
力ガアル、而モ此ノ勞働力ハ一日働カザレ
バ一日空シクナルモノデアリマシテ、ソレ
ヲ無駄ニ捨テ置イテハイケナイカラ、若
シソコニ資本ガ足りナケレバ、政府ガ赤字
公債ヲ出シテデモソレ等ヲ有用化シテ、
ソレ等ノ勞働力ヲ完全ニ燃焼セシメテ、而
シテ國家ノ富ヲ作ツテ行クト云フヤウナ意
味ニ於テ、赤字公債ガ極メテ重要ナル意義
ノアルコトハ、私共風ニサウ云フ見解ヲ發
表シテ居ルノデゴザイマス、併シ今日ノ時
代ニ於キマシテハ、赤字公債ハ左様ナ生産
的意味ヲ以テ發行サレテ居ルト云フヨリモ、
ヤハリ是ハ租稅收入ヲ以テシテハドウシテ
モ國費ガ足りナイカラ、已ムヲ得ズ赤字公
債ヲ出シテ居ルノデアツタ、是ハ赤字公債
ヲ出サズニ濟メバ努メテ出サズニ濟マスベ
キモノデアルト私共ハ考ヘルノデアリマス、
尙ホ公債ノ償還計畫ハ適當ナ時期ニ樹立ス
ルコトヲ考ヘルト云フ御答デアリマシタ
ガ、其ノ適當ナル時期ハ、今日以上ニ私ハ適

當ナル時期ハナイト思ツテ居ルノデアリマス、即チ此ノ大事變ヲ遂行致シマスル途上ニ於キマシテ、對外的ニモ對內的ニモ、我國ノ財政ニ對シマシテ色々ノ批評ガ行ハレテ居ル今日、政府ガ此ノ公債償還計畫ヲ確立サレマシテ、而シテ内外ニ對シマシテ我國ノ財政ガ不動ノ基礎ヲ有スルコトヲ明ニサレマスコトハ、今日ノ場合ニ於テ最モ必要デアルト考ヘルノデアリマス

以上ハ先日ノ大藏大臣ノ御答辯ニ對シマシテノ私ノ御尋デアリマス、是等ニ對シマシテ一應ノ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 先日モ申シマシタ通り、自然増収ト云フモノダケデ、將來殖エテ行ク所ノ公債ノ利子並ニ元金ノ償還及ビ恩給年金其ノ他ノモノヲ支拂ヒ得ルカト云フ御尋ニ對シマシテハ、私ハソレダケハ不足スルコトニナルデハナカラウカト申シマシタ、ソレハ必ズシモ絕對性ノモノデハナイノデアリマス

シテ、昨年ノ如キ、若クハ一昨年ノ如キ、即チ事變ノ後ニ於テ非常ニ經濟界ガ膨脹致シタヤウナ場合ニ於キマシテハ、自然増収ト云フモノハ非常ニ多ク出ルノデアリマシテ、増加致シタル所ノ公債ノ利子並ニ恩給年金等ノ支拂モ出來ルノデアリマスケレドモ、ソレハ永續的ニ左様ナ事柄ガ續クトハ考ヘテ居リマセヌノデ、隨ヒマシテ自然増収ダケヲ以テ將來ノ赤字ノ利息ヲ拂ヒ、又元金償還ヲ爲シ、恩給並ニ年金ノ支拂ヲ之ニ依ツテ賄フト云フコトヲ決メルコトハ是ハ當ヲ得ナイデアラウ、斯ウ思フノデアリマス、併シナガラ御承知ノヤウニ斯ノ如キ今日ノ日本ノ現勢デアリマシテ、躍進的發達ヲ致ス場合デアリマスカラシテ、若シ生産擴充ガ著ストシテ行ハレ、而シテ日本ノ財

界ガ極メテ順調ニ發達致シマスナラバ、私ハ此ノ自然増収ト云フモノニ依ツテ賄ヒ得ルコトガナイトモ限ラヌト思フノデアリマス、ソレデ此ノ資金ガ一般ニ出タ場合ニ於テ、之ヲ循環的ニヤルノニハ新シキ機構ニ依ツテヤラナケレバナラヌト云フ風ナ御意見デアリマスガ、ソレハ私共モ必ズシモ新シキ機構ガナイトハ考ヘテ居リマセヌ、併シナガラ之ヲ致シマスノニハ、適當ナ考慮研究ヲ致シタ上デナケレバ新シキ機構ト云フモノヲ作ル譯ニハ參ラナイノデアリマシテ、今直チニ是レノ方法ニ依ツテヤルト云フコトハ申上ガ兼ネルノデアリマス、唯撒布セラレタル所ノ資金ヲ直チニ貯蓄ナリ、或ハ銀行預金ナリ、其ノ他ノ方法ニ依ツテ資金化スルヤウニ致スト云フコトハ最モ必要デアラウト私共ハ思ツテ居ルノデアリマス

赤字公債ヲ發行スルト云フコトガ決シテ惡イコトデハナイ、斯ウ云フ風ニ申シタト云フ御話デアリマスガ、ソレハ一節ニ申シマシタガ、聯關シテ申シマスレバ、即チ其ノ時ニモ申上ガマシタ通り、赤字公債ヲ發行シテモ其ノ金ガ將來利益ヲ生ミ出スヤウナ仕事ニ投ゼラレマスナラバ、赤字公債決シテ恐ルニ足ラナイ、斯ウ申シタノデアリマシテ、是ハ恐ラク西川君モ御同感デアラウト思フノデアリマス、若シ是ガ不生産的ナモノニ投ゼラレマシタ場合ニ於キマシテハ、是ハ將來ニ於テ赤字公債ノ償還ヲスルダケノ利益ハ生シデ來ナイノデアリマスカラ、ソレハ別途ニ考ヘナケレバナラヌ問題デアリマス、即チ言葉ヲ換ヘテ申スナラバ、生産公債ハ時ニ應ジテ發行致シテモ宜シイノデアルガ、所謂不生産的ナ公債ハ其ノ償還方法ヲ別途

ニ立テナケレバ、國ノ財政ニ取ツテ決シテ良イモノデハナイノデアリマス、隨ヒマシテ此ノ赤字公債ガ非常ニ増發サレルコトハ決シテ喜ブベキコトデハナイト云フコトハ、先日モ申上ガタ通りデアリマス、隨ヒマシテ適當ナル方法ニ依ツテ此ノ償還方法ヲ定メ、其ノ利子ノ支拂方法ヲ定メテ、サウシテ此ノ公債ヲ發行スルケレドモ、斯ウ云フ方法ニ依ツテ利息ヲ拂ヒ、償還ヲスルノデアツテ、決シテ國ノ財政ニ對シテ不安ヲ與ヘルモノデハナイ、斯ウ云フ建前ヲ執ラナケレバナラヌト信ジテ居ルノデアリマス、ソレデ御承知ノ通り現在ノ自然増収ノ狀況カラ言ヒマスルト、即チ十三年、十四年ハ明ニ非常ナ増加ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、日本ノ財政ニ對シテ非常ナ安心ヲ與ヘルト申シマスガ、私共ハ良イ狀況ヲ呈シテ居ルト思ヒマスガ、今後モ此ノ狀況ガ續クヤウニナリマスレバ非常ニ結構ナコトデアリマスケレドモ、必ズシモサウトバカリハ考ヘラレマセヌノデ、此ノ點ニ付キマシテハ將來根本的ニ確定シタル財政計畫ヲ立テテ、國民ノ安心ヲ買フヤウニシナケレバナラスト云フコトヲ固ク信ジテ居ル者デアリマス、ソレデ今私ハ此ノ場ニ居リマセヌデ分リマセヌシタガ、日本ノ財政ガ決シテ不安ナモノデナイト云フコトニ付キマシテハ西川君モ御同意デアラレルヤウデアリマスケレドモ、私共ハ日本ハ今日以後益々發展致スベキ所ノ素質ヲ持ツテ居ルト思フノデアリマシテ、殊ニ今回ノ事變ノ結果ト申シマスガ、或ハ結果デナクテモ自然ノ大勢デアリマスケレドモ、日滿支ガ一體トナツテ綜合的經濟計畫ヲ確立シテ、サウシテ其ノ産業ヲ相互ニ助け合ツテ其ノ發達助長ヲ致

シマスナラバ、私ハ日本ノ將來ハ決シテ悲觀スベキモノデナイ、斯様ニ固ク信ジテ居ルノデアリマス

○西川委員 大藏大臣ニ御尋致シマスガ、將來我國ノ歳出ガ減少致シマシタ場合ニ、公債ト租稅トハドチヲ先ニ減ジラレル積リデアリマスガ、詰リ歳出ガ相當減ジテ、現在ホド赤字公債ヲ出ス必要モナイト云フヤウニナリマシタ場合ニ、公債ト租稅トドチヲドウ云フ風ニ減ジラレル方針デアリマスガ

○櫻内國務大臣 將來歳出ガ非常ニ減少致シマシテ、而シテ歳入ガ殖エマシタ場合ニ、其ノ金ヲ減稅ニ使フカ、若クハ公債ヲ減額スルカト云フコトニ付キマシテハ、マダソレニ對シマシテ確タル決定ヲ致シテ居リマセスケレドモ、是ハ其ノ時ノ經濟上ノ情勢ヲ睨ミマシテ、適當ニ決定致サナケレバナラスト考ヘテ居リマス

○西川委員 ソレデハ次ノ問題ニ付テ御同致シマスルガ、總理ノ御都合モアリマセウカラ、總理大臣ニ關聯スルコトデ一ツ御伺ヲシタイ、ソレハ此ノ増稅案ヲ審議スルニ當リマシテモ非常ニ重大ナル關係ヲ持ツノハ物價問題デアリマス、而シテ此ノ物價政策ニ對シマシテハ前內閣——其ノ前カラデアリマスガ、物價委員會ナルモノガアリマシテ、是ガ相當重要ナル機能ヲ果シテ居タヤウデアアル、現內閣ノ下ニ於キマシテ此ノ物價委員會ノ機構ノ改革ガ問題トナツテ居ツタヤウデアリマスガ、之ニ對シマシテ本日新聞紙ノ傳フル所ニ依リマスレバ、內閣ノ中ニ於キマシテ商工大臣ノ御意見ト他ノ閣僚ノ御意見トノ間ニ對立ガアルカ、或ハ食達ヒガアルカノヤウニ傳ヘラレテ居ルノ

デアリマスガ、此ノ問題ノ真相、尙ホ之ニ對シマスル總理大臣ノ御意見、大藏大臣ノ御意見、商工大臣ノ御意見ヲ、是ハ極メテ本案ノ審議ニ重要ナル關係ヲ持ツト思ヒマスノデ、此ノ際明ニセラレンコトヲ希望致シマス

○米内國務大臣 其ノ問題ニ付キマシテハ、別ニ對立シテ居ルトカ、喧嘩シテ居ルトカ云フ事實ハナイノデアリマス、今研究中デアリマス、研究中デアリマスカラ、オ互ニ意見ヲ交換スル、其ノ間ニハ甲論乙駁スル場合モアルデアリマセウガ、サウ云フ大キナ問題デハアリマセウ、ソレカラ機構ノコトモ隨ヒマシテ今此處デ斯ウダ、ア、ダト言フ所マデ御答スル時期ニ達シテ居リマセウ、左様ニ御諒承願ヒマス

○西川委員 ソレデハ根本方針ニ付テ御伺致シマス、物價委員會ヲ内閣直屬ノ委員會トスルコトニ付キマシテノ總理大臣ノ御意見ハ如何デアリマセウカ

○米内國務大臣 今ソレモ研究中デアリマス、成ルベク早クヤラスト困リマスカラ、日曜アクリニハ大抵目鼻ガ付クト思ツテ居リマス

○西川委員 私共ハ一昨日總豫算案ノ審議ニ當リマシテ、委員長ノ御報告ノ中ニアツタ言葉ニ非常ニ心外ニ思ツタ點ガアルノデアリマス、即チ豫算委員會ノ質問應答ノ結果ヨリ見テ、何等ノ抱負經綸モナク、唯漫然トシテ此ノ重大時局ヲ擔當セラレタノデハナイカト云フ一種不安ノ感想ヲ一般國民ニ與ヘタコトハ否ムベカラザル事實デアアルト云フコトガ委員長ノ御報告ノ中ニアツタ、此ノ委員會ニ於キマシテモ、極メテ重大ナル問題ニ付キマシテ所謂研究中、考

慮中ト云フヤウナ言葉デ、具體的ナ方針ヲ承ルコトノ出來マセウノハ甚ダ遺憾ニ存ジマス……

○堀切委員長 西川君、マダ此ノ委員會ハズツト續キマスカラ、其ノ内ニハ御明答ガアルト考ヘマス

○西川委員 成ベク速ニ御明答アランコトヲ望ミマス

○堀切委員長 總理ハ御出掛ニナラナケレバナラスサウデスガ、モウ大抵宜シウゴザイマス

○西川委員 御疲レデゴザイマセウカラ宜シウゴザイマス

○森田委員 總理ハ他ノ委員ノ時ニモ來テ戴ケルデセウカ、來テ戴ケレバソレデ宜シイシ、來テ戴ケナケレバ今關聯シテヤラナケレバナリマセウガ……

○堀切委員長 出來ルダケ來テ戴ケルサウデアリマス

○西川委員 引續イテ大藏大臣ニ御尋致シマス、大藏大臣ニ對スル質問ハ僅カデゴザイマスカラ、商工大臣ハ暫ク御待チ願ヒタイト思ヒマス、私共ハ此ノ稅制案ヲ審議スルニ當リマシテ、財政當局ガ國民ノ生活問題ヲ顧慮スルコトノ極メテ冷淡ナル感ガアルコトヲ、甚ダ遺憾トスル者デアリマス、即チ此ノ所得稅法ニ於キマシテハ、從來ノ免稅點ガ遙ニ引下ゲラレテ居リマシテ、小額所得者ニ極メテ重大ナル負擔ガ加ヘラレルヤウニナツテ居リマスコトハ、既ニ他ノ委員カラ色々質問サレタ點デアリマス、併シ私ハ單ニ控除額デアルトカ、或ハ小額所得者ノ僅カノ負擔關係デアルトカ云フコトヲ主トスルヨリモ、此ノ制稅ヲ一應離レテ見マシテ、現在ニ於ケル國民生活、特ニ小

額所得者ノ生活狀態ガ如何ニアルカト云フコトニ付テ、當局ノ御認識ヲ伺ヒタイノデアリマス、既ニ現在ノ物價ハ、事變前ヲ一〇〇ト致シマシテ物價指數ニ現ハレタ所ヲ以テ致シマシテモ、一五〇デアリマス、五割ノ物價騰貴ニナツテ居リマス、此ノ五割ノ物價騰貴ガ如何ニ國民生活ヲ壓迫シツツアルカト云フコトハ申スマデモナイ、然ルニ本當ニ吾々ノ購入シマスル物價、眞ニ取引サレマス所ノ物價ハ、此ノ物價指數ニ現ハレテ居リマス五〇%ノ騰貴以上ニ、闇取引其ノ他ニ依リマシテ餘程高クナツテ居ルノデアリマス、而モ物價ガ騰貴致シマスナラバ、ソレニ相應シテ國民ノ所得ガ増大スル、所謂物價ハ商品ノ交換ノ比率デゴザイマスカラ、物價ガ高イト云フコトハ自分ノ生産シタ物ヲ高ク賣ルコトガ出來ル、買フ時ニハ高ク買フガ、之ニ代フルニ自分ノ物ヲ高ク賣ルコトガ出來ルノデゴザイマスカラ、ソレハ當然所得ノ増大ヲ來スノデゴザイマス、而モ政府ノ低物價政策ヲ建前カラ、往年減俸ヲシタ所ノ俸給ヲ戻シテヤルコトハシタクナイ、或ハ極メテ下級ノ官吏、學校教員其ノ他政府ニ關係ヲ持チマスル方面ノ者ノ收入ノ増加ノ途ガ圖ラレナイ、是等ノ爲ニ、物價ガ騰貴スルニ從ツテ所得ガ増加スベキデアアルニモ拘ラズ、サウ云フコトノ爲ニ増加シナイ、隨テ非常ナル生活ニ苦難ヲ來シテ居ル者ガ多イノデアリマス、而モ此ノ稅制ニ於キマシテハ、ソレ等ノ人々ニ對シマシテモ、更ニ今マデ税金ノ課カラナカッタ者ニ税金ガ課カリ、又今マデ僅カノ税金デアッタ者ガ相當額ニ増徴サレルト云フコトハ、如何ニモ是ハ小額所得者ニ對シマシテ、私共此ノ案ノ

審議ヲ致シマスノ忍ビナイ點ガアル、實際ニ國民生活ガドウ云フコトニナツテ居ルカト申シマス、單ニ物價ガ高イ、闇取引ガ高イト云フダケデナシニ、品質ノ粗惡化、脆弱化ニ依ツテ、ドノ位國民ノ生活ガ壓迫サレテ居ルカ分ラナイ、變テ話デアリマスルガ、或所ノ女中サンガ、自分ノ貰ツテ居ル給料デハ足袋代シカナイ、一箇月ニ「ス」フノ足袋ヲ使フト十足モ買ハナクテハ、毎日白イ足袋ヲ穿イテ居ルコトガ出來ナイト不平ヲ零シテ居ルコトヲ聞イタデアリマス、又私ガ住ンデ居ルノハ郊外デアリマサガ、私ノ近所ニ新ニ建ツテ居ル家ハ、六疊一間ト三疊ノ玄關ヲ付ケテ、小サイ臺所ガアルダケデ四十圓カラ四十五圓ノ家賃ヲ取ツテ居ル、從來カラ建テアルノハ家賃ノ引上ヲ許シマセウカラ低イデアリマセウケレドモ、最近建テツツアル家ノ家賃ノ高イコトハ驚クベキ程デアアル、是等ノ事情ノ爲ニドレ位生活ガ壓迫サレテ居ルカ、今日百圓以下ノ所得者ニ於テ友人先輩カラ金ヲ借リルカ、親許カラ送金シテ貰フカ、冬ガ來レバ夏物ヲ質屋ニ持ツテ行キ、夏ガ來レバ冬物ヲ質屋ニ持ツテ行クト云フヤウナヤリ繰ラセズニ生活出來ル者ガ一體ドレ位アルダラウカ、近來ニ於ケル市中ノ質屋ガ如何ニ繁昌シテ居ルカ、而モ質屋ノ金利ガ如何ニ高イカ、是等ノ點ヲ考ヘテ見ルト、成程事變下ニ於テ成ベク國民ノ負擔ハ普遍的ニ負擔シナケレバナラス、小額所得者モ應分ノ負擔ヲシナケレバナリマセウケレドモ、此ノ負擔關係ト云フモノヲ離レテ考ヘマシテモ、今少シク私ハ深刻ニ、眞劍ニ國民生活ノ問題ヲ考ヘナケレバナラスト思フ、殊ニ直接國民ノ負擔ニナリマス此ノ稅制ノ審議

ニ當リマシテハ、私ハ眞劍ニ此ノ問題ヲ考ヘ、是等ニ對シマスル御考ニ付テ御伺シナケレバナラスノデアリマスガ、一體此ノ制度ニ於テ、千五百圓以下ノ所得者ヲ全部課稅ヲシナイト致シマスレバ、ドノ位ノ歳入減トナリマスカ、御示シテ願ヒタイ、又減俸ヲ元ニ戻シ、從來小額俸給ナルガ爲ニ減俸サレナカッタ人達ニ對シマシテ假ニ一割ノ時局手當ヲ出スト致シマシタナラバ、ドノ位ノ歳入増加ヲ要スルノデアルカ、此ノ點ハ曩ニ委員長カラモ資料ヲ要求サレテ居リマスガ、マダ私見テ居ラナイノデアリマスガ、此ノ際國民生活ニ對スル大藏大臣ト商工大臣ノ御見解ヲ御聽キ致シタイと思フノデアリマス

○櫻内國務大臣 極メテ小額ノ所得者ノ方々ガ生活上御困リニナツテ居ル點ニ付キマシテハ、私共御同情ヲ申上ゲテ居ル次第デアリマス、唯今回稅ノ普通化ト云フ目的ノ上カラ、約百八十萬程ノ人ガ三百何十萬ト云フコトニ殖エマシタクレドモ、今回ノ如キ非常時ニ際シテ幾分力負擔ヲシテ戴クト云フコトハ、是ハ私ハ國民ガ出來ル限リヤツテ下サルモノトス様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、殊ニ千五百圓位ノ程度ニ於キマシテハ相當ナル免除ヲ設ケマシタカラ、從來ノ如ク千圓カラ直グソレニ對シテ十圓課稅サレルト云フコトデナク、又其ノ他妻マデ扶養家族控除トシテ相當ナ稅額ヲ控除スルヤウニ致シマシテ、適當ナ考慮ヲ拂ツテ、出來ル限リ普通の負擔ヲシテ戴クコトガ宜シイノデハナイカ、斯ウ云フ見地カラ此ノ提案ヲ致シタ譯デアリマス、只今ノ御尋ノ數字ハ政府委員ノ方カラ御答申上ゲマス

○大矢政府委員 只今ノ數字ノ點ハ相當廣汎ナモノデゴザイマシテ、手許ニ用意シテアリマセヌカラ、何レ後デ提出致シタイと思ヒマス

○藤原國務大臣 小額收入者ノ生活難ニ付テ只今西川君ノ御述ニナリマシタコトハ、私共モ同様ニ考ヘテ居リマス、其ノ段總テ大藏大臣ノ申上ゲタト同ジヤウナ考ヲ持ツテ居リマス

○西川委員 次ニ私ハ此ノ所得ノ階級間ニ於ケル增稅ノ負擔ノ不均衡ガ甚ダ大デハナイカ、此ノ點ハ此ノ增稅案ノ審議ニ當ツテ餘程考ヘナクテハナラヌ點デアルト思フノデアリマス、即チ一千五百圓ノ勤勞所得者ト致シマシテ、現在ドノ位ノ負擔ヲ致シテ居ルカト申シマス、附加稅ヲ加ヘテ十七圓位デアルト思フノデアリマス、家族控除ノ點ハ暫ク是ハ除外シテ考ヘマス、然ルニ此ノ制度ニ於キマシテハ五十四圓ノ負擔トナルノデアリマシテ、其ノ増加ノ割合ハ、一千五百圓デハ三倍位ナ増加ニナツテ來ル然ルニ所得額ガ増大スルニ從ヒ其ノ割合ハ漸次低下致シマス、一千五百圓デハ三倍ニナルガ、三千圓ニナルト一倍半位ナモノニナツテ來ル、尙ホ綜合所得稅ノ課セラルル限界近クニナルト、殆ド現在ト違ハナイヤウナ負擔關係ニナツテ來ルノデアリマス、サウ致シマスと今日最モ生活ニ苦シンデ居ル二千圓以下ノ階級、一千五百圓ヲ中心トスル階級ガ三倍ノ負擔増加トナリ、而モ是ハ月給取りトシテハ極ク下級ノ者、中級以下デア

ル、而シテ一年間ノ勤勞所得ガ五千圓以上ニナルモノハ支配階級デアリ、極メテ有力ナル階級デアル、ソレ等ノ者ガ、現在ヨリ殆ド負擔ノ増加ヲ見ナイト云フコトハ、時局格增稅ヲシナクテハナラヌ云トフ建前ニ

於テ甚ダ不均衡デアリ、又社會人心ニ及ボス影響モ如何カト思ヒマスガ、此ノ點ニ對シマシテハ大臣ハドウ云フ御見解ヲ持ツテ居ラレマスカ

○櫻内國務大臣 今回ノ稅制改正ノ方針ハ從來色々複雑化シテ居ツタ稅制ヲ全部新ニ致シマシテ、詰リ新シイ所ニ築キ上ゲルト云フ風ナヤリ方ヲ致シマシタ結果、從來非常ナ飛ビ方ヲシテ居ツタ稅金ノ狀態ハ、一定ノ程度ニ進メテ行クト云フ風ニ致シマシタ、其ノ結果只今御話ノヤウナ或ル點ニ於テ增稅ノ割合ガ少イ、從來ノ稅率ニ對スル増加ノ割合ガ殆ドナイト云フ風ナ事柄ガ、或ル「ポイント」ニ於テ起ツタモノト考ヘラレマス

（委員長退席、高橋委員長代理著席）
其ノ點ニ付テノ御質問デアルト思ヒマスガ、稅法ノ改正ノ場合ニ於キマシテハ、新シク組立テル建前カラ、ドウシテモサウ云フ事情ガ起ツタコトト考ヘマス、詳シクハ政府委員カラ御答申上ゲマス

○大矢政府委員 現行所得稅法ノ稅率ハ大體大正九年ニ根本的改正ヲ加ヘ、其ノ後大正十五年ノ改正ヲ經テ今日ニ至ツテ居ルノデアリマシテ、初メハ一千二百圓ヲ一番低イ所トシテ、百分ノ一ノ稅率デ盛ラレテ居ツタノデゴザイマスガ、其ノ後臨時租稅增徴法等ニ依ツテ相當大幅ノ增徴ヲヤリ、而モ臨時租稅增徴法ニ於テハ機械的ニ二千圓マデハ二割増トカ、三千圓マデハ三割増トカ、或ハ十萬一圓カラ五十萬圓マデノ間ハ五割五分増ト云フ風ニヤリマシタ結果、餘程各階級毎ノ稅率ノ刻ミガ不自然ニナツテ居ルノデアリマシテ、是ハ昭和十三年ニ於テ改正致シマシタクレドモ、ドウシテモ臨時

租稅增徴法デ階級割增稅率ヲ以テ增率シタ名殘リガ殘ツテ居リマス、隨テ其ノ昭和十三年ノ改正ニ依ツタ跡ヲ見マシテモ、一千圓ノ所ハ百分ノ一ニナツテ居リマス、然ルニ千五百圓級ノ所ハ百分ノ四ニナツテ居リ四倍ニナツテ居リマス、又三千圓級ノ所ハ百分ノ七ト云フ風ニ、非常ニ階段ガ飛躍的ニ飛ンデ、一體一千圓ノ所ト一千五百圓ノ所ト三千圓ノ所トシナニ負擔力ニ相異ガアルモノカドウカト云フコトガ問題ダと思ヒマシテ、此ノ度ハ總テ之ヲスツカリ止メテ、小額所得者ニ付テハ基礎控除ニ依ツテ稅率ヲナガラカニシヨウトシテ居ルノデアリマシテ、寧ロ此ノ度ノ改正ノ結果ノ方ガ、稅率ノ變化シテ行ク「カーブ」ガ非常ニナガラカニ、自然的ニナツテ居ルト考ヘテ居リマス、現行法ト比較シテ其ノ增率ノ程度ヲ見ルト御話ノヤウナ點ガアリマスガ、是ハサウ云フ事情ニナツテ居ルノデ、寧ロ今度ノ改正ノ方ガ適當デハナカラウカト思ヒマス、其ノ最モ極端ナル例ヲ申上ゲルト、從來一千圓未滿ノモノハ免稅デ、一千圓ニナレバ百分ノ一ニナツテ居リマシタ、隨テ九百九十九圓ノ所得者ハ所得稅ヲ一文モ納メマセスガ、一千圓ノ所得者ハ百分ノ一ノ稅率デアルカラ十圓納メ、稅引所得ハ九百九十九圓ノ所得者ヨリ却ツテ一千圓ノ所得者ノ方ガ九圓少イト云フ不自然ガアルノデアリマシテ、從來ノ稅率ノ刻ミトカ、免稅點ノ置キ方ニモ大分考慮ヲ要スル點ガアルト思フノデアリマス、過渡期ニ於テ負擔ノ増加歩合ヲ見ルト、多少不自然ナヤウナ點モ考ヘラレマスガ、之ヲ拵上ゲタ結果カラ見ルト、寧ロ今度ノ案ノ方ガ一千圓カラ一千五百圓ニナリ、三千圓ニナリ、五千圓ニナリ、七千圓

租稅增徴法デ階級割增稅率ヲ以テ增率シタ名殘リガ殘ツテ居リマス、隨テ其ノ昭和十三年ノ改正ニ依ツタ跡ヲ見マシテモ、一千圓ノ所ハ百分ノ一ニナツテ居リマス、然ルニ千五百圓級ノ所ハ百分ノ四ニナツテ居リ四倍ニナツテ居リマス、又三千圓級ノ所ハ百分ノ七ト云フ風ニ、非常ニ階段ガ飛躍的ニ飛ンデ、一體一千圓ノ所ト一千五百圓ノ所ト三千圓ノ所トシナニ負擔力ニ相異ガアルモノカドウカト云フコトガ問題ダと思ヒマシテ、此ノ度ハ總テ之ヲスツカリ止メテ、小額所得者ニ付テハ基礎控除ニ依ツテ稅率ヲナガラカニシヨウトシテ居ルノデアリマシテ、寧ロ此ノ度ノ改正ノ結果ノ方ガ、稅率ノ變化シテ行ク「カーブ」ガ非常ニナガラカニ、自然的ニナツテ居ルト考ヘテ居リマス、現行法ト比較シテ其ノ增率ノ程度ヲ見ルト御話ノヤウナ點ガアリマスガ、是ハサウ云フ事情ニナツテ居ルノデ、寧ロ今度ノ改正ノ方ガ適當デハナカラウカト思ヒマス、其ノ最モ極端ナル例ヲ申上ゲルト、從來一千圓未滿ノモノハ免稅デ、一千圓ニナレバ百分ノ一ニナツテ居リマシタ、隨テ九百九十九圓ノ所得者ハ所得稅ヲ一文モ納メマセスガ、一千圓ノ所得者ハ百分ノ一ノ稅率デア

ニナリ、一万圓ニナルニ從ツテ税率ノ「カー
ブ」ガ非常ニ自然的ニナツテ居リ、寧ろ改
善サレテ居ルノデハナカラウカト存ズル次
第デアリマス

○西川委員 御苦心ノ程ハ諒ト致シマス、
又御説明ノ事情モ了解シテ居リマス、併シ
私共ハ斯ウ結果ヲ表ハシテ、一千五百圓程
度ノモノハ現在ノ三倍ニモナリ、三千圓ニ
ナレバ一倍半位ニナリ、五千圓以上ニナル
ト大體現在ノモノト違ハナイト云フヤウナ
結果ガ、此ノ時局柄或ル程度ノ税ヲ忍シテ
貰ハナケレバナラヌト言ウテノ増税デア
リ、且又千五百圓内外ノ所ニ一番物價騰貴
ノ重壓ガ加ハツテ居ルト思フ、詰リ生活費
ノ内容ヲ分析シテ見マシテモ、是ハ貨幣價
値ノ限界效用説ナドト云フ難カシイ理窟
ヲ引出シマセズデモ、三千圓カラ四千圓、
五千圓ノ勤勞所得者ハ負擔力ガ相當ニ
アルト云フコトハ爭フベカラザル事實デア
リマスケレドモ、サウ云フ事務的ノ穿鑿
ヲスルノデナク、此ノ結果ト云フモノガ
私共ハ説明ニ困ルト思フ、千五百圓内外ノ
所ハ三倍ニナル、三千圓ハ一倍半、五千圓
ハ今ト違ハナイト云フコトヲ申シタノデ
ハ、私共此ノ時局柄人心ヲ納得セシメ得ナ
イノデアリマスガ、此ノ點ニ付テ大藏大臣
ノ御説明ヲ願ヒタイノデアリマス

○櫻内國務大臣 御話ノ如キ狀況ニナツテ
居リマスガ、併シナガラ今主税局長カラ申
シマシタ通り、税制ノ根本的改革ヲ致シマ
ス建前カラ、即チ新シイ所ニ築キ上ゲマス
トスレバ、今回改正ヲ致シマシタ方ガ適正
デハナカラウカ、斯様ニ思ツテ居ルノデア
リマス

○大矢政府委員 一寸前ノ説明ニ補足シテ

申上ゲタイト存ジマス、ソレハ扶養家族ノ
控除ノ點デゴザイマスガ、從來ハ扶養家族
ノ控除ハ一人當リ百圓トナツテ居リマシタ
ガ、今度税額控除ニ致シマシタ結果トシテ、
三千圓ノ者ヨリモ千五百圓ノ者ガ寧ろ控除
率ガ從來ヨリモ多クナツテ居ル、千五百圓
ノ者ヨリモ千圓ノ者ガ控除率ガ多クナツテ
居ル、斯ウ云フ結果ニナツテ居ルコトモ一
ツ申添ヘテ置キタイト存ジマス

○西川委員 色々御説明ガアリマシタケレ
ドモ、私共ハ此ノ結果ニ付キマシテハ非
常ニ妥當ヲ失スルト思フ、從來斯ウ云フ税
ガ無シニ、新シイ平地ニ建築シマスナラ
バ、或ハ前ノ家ヨリモ此ノ方ノ家ガ宜カ
ツタカモ知レヌ、併シナガラ此ノ前ノ稅負擔
ト云フモノガ増税ト云フ觀念ヲ與ヘテ居ル
ノデスカラ、稅ノ負擔ハヤハリ前ノガ基準
ニナツテ之ヲ考ヘマスカラ、ソレガ下ノ平
面カラ之ヲ考ヘテ行キマスレバ或ハ妥當カ
モ知レマセヌケレドモ、ドウモ其ノ點ハ尙
ホ私共納得シ難イノデアリマスガ、併シ是
ハ押問答ニモナリマスシ、私共後本案ノ
處理ニ關シマシテ考ヘルコトト思ヒマスノ
デ、此ノ點ハ追究致シマセヌ

次ニ此ノ税制ノ建前ニ於キマシテ、勤勞
所得ナルモノハ著シク優遇サレルコトニナ
ツテ居リマスガ、勤勞所得優遇ノ理論的ノ
根據ニ付テ御示ヲ願ヒタイ

○櫻内國務大臣 申スマデモナク勤勞即チ
働イテ收入ヲ得ルト云フ方面ニ付キマシテ
ハ、是ハドウモ少シ優遇スルコトガ當然デ
ハナイカト思ヒマス、資本ニ依ツテ得テ居
ル者ハ即チソレダケ財力ガアルノデアリマ
シテ、隨ヒマシテ自分デ働イテ自分デ食フ
ト云フ者ニ對シテ多少ノ優遇ヲスルト云フ

コトハ、私ハ決シテ不當ナコトデハナイヤ
ウニ考ヘテ居ルノデアリマス

○西川委員 勤勞所得ハ大體ニ於テ優遇ス
ル必要ガアルト云フ只今ノ御説明ハ私共同
感デアリマス、併シナガラ其ノ優遇ハ、此
ノ所得稅ノ建前カラ申シマス、不動産所
得、配當利子所得等ノ所謂財產所得ト勤勞
所得トノ間ニハ、相當ノ優遇ノ途ヲ講ジテ
モ宜イト思フノデゴザイマスガ、事業所得
ト勤勞所得トノ間ニ、此ノ稅制案ニ盛ツテ
居ル程ノ負擔力ノ相違ガアルカドウカ、詰
リ事業トシテ、特ニ自由職業者、辯護士、
醫師等殆ド從來ハ勤勞所得ト同様ニ扱ハレ
テ居リマシタ者ト、而シテ俸給所得者等ノ
間ニ尙ホソレ程ノ負擔力ノ差異ガアルカド
ウカ、又此ノ案ニ依リマス、假ニ三千圓
ノ所ヲ取ツテ見マス、勤勞所得者ハ百四
十四圓、事業所得者ハ甲種ニ於テ二百二十
一圓、乙種ニ於テ百九十五圓ト云フヤウナ
負擔關係ニナツテ來ルノデゴザイマスガ、
斯ノ如キ開キヲ事業所得ト勤勞所得トノ間
ニ置クノガ妥當デアアルカドウカ、此ノ程度
ノ開キガアルコトガ妥當ダト云フヤウニ思
ハレマスカドウカ

○櫻内國務大臣 事業所得ノ方ハヤハリ一
部資本ニ依ツテ生ズル所ノ利益ガ含マレル
ト云フ見透シカラ、事業所得ノ方ヲ少シ
重クシタノデアリマシテ、勞賃ノ方ノ勤勞
所得ト資本ニ依ル所得トノ中間デアル、兩
方ヲ含シタモノダト云フ建前カラ斯様ニ致
シタ譯デアリマス

○西川委員 サウスルト御考慮ノ點ハ、ソ
コニ資本ノ收益ガ幾分カ加ハツテ居ルカ居
ナイカト云フ點ニ限ラレテ居ルト私ハ聽イ
タノデアリマス、サウ致シマスナラバ是ハ

非常ニ妥當ヲ失スルト思フ、例ヘバ今日ノ
時局下ニ於キマシテ、中小商工業者ノ如キ
ハ、稅ノ關係ヲ離レマシテモ、時局柄非常
ナ苦境ニ迫ラレテ居ル、而モ中小商工業
者ハ其ノ事業ノ所得ガ必ズシモ資本
ニ依ル所得ト云フ譯ニイカナ、借金
ヲシテヤツテ居ル者モアル、大部分ノ
者ハ借金デヤツテ居ル、又自由職業者ニ
於テモサウデアリマシテ、是等ニ資本ノ
收益ガ加ハツテ居ルト見ルノガ妥當カドウ
カハ多大ノ疑問ガアル、ソコデ特ニ吾々ガ
考慮シナケレバナラヌコトハ、今日ノ一般
ノ社會情勢カラ申シマス、相當ノ俸給取
ニナルノニハ資本ガ掛リマス、俸給取必ズ
シモ無資本デハナレマセヌ、資本ト云ヘバ
語弊ガアルカモ知レマセヌケレドモ、俸給
取ニナル資格ヲ得ル爲ニハヤハリ相當ノ金
ガ掛ル、隨テ相當ノ所得者ノ子弟デナクテ
ハ、其ノ位置ヲ獲得スル條作ヲ取ル爲ノ一
定ノ資格ヲ得ルコトハ出來ナイ、相當ノ所
得者ノ子弟ニシテ初メテ其ノ地位ヲ得ルノ
デゴザイマスガ、サウ云フ實力ノ無イ者ハ
中小商工業者ニナツテ、天秤棒一本カラヤ
ツテ地位ヲ築イテ行カケレバナラヌト云
フノガ、從來ノ社會ノ實情デアリマス、隨
テ勤勞所得ノ優遇ト云フコトハヤハリ租稅
學上ノ一原則デハアリマスケレドモ、是ハ本
當ニ日本ノ社會ノ實態ニ即シテ考ヘマスナ
ラバ、必ズシモ事業所得者ガ擔稅力ニ於テ
優レテ居ルトハ言ヘナイ、隨テ事業所得ト
勤勞所得トノ間ニ斯ノ如キ差別ガアルト云
フコトハ、其ノ點ヲ考慮スル時ニ妥當ヲ缺
クノデハナイカ、大藏大臣ノ如キハ能クサ
ウ云フ方面ノ酸イモ甘イモ嚙ミ分ケラレテ、
此ノ間ノ事情ニモ十分ニ精通サレタ方デア

リマスノデ、此ノ大臣ノ下ニ樹立サレマス
税制ニ於テハ、所謂社會的弱者トモ申シ
マスカ、ソレ等ノ者ニ對シテモウ少シ涙ノ
アル税制ガアツテ宜イデハナイカ、又財産
所得ニ致シマシテモ、千圓位シカ所得ガナ
イト云フ者ハ、ソレハヤハリ自分ニ働ク能力
ノ無イ人間デアリマス、財産ガアツテ而モ
働ク能力ガアルナラバ、又ヨリ以上勤勞致
シマシテヤハリ相當ノ所得ヲ擧ゲルノデア
リマスガ、其ノ所得ノ源泉ガ不動産デアラ
ウト、配當利子デアリマセウト、五百圓或
ハ千圓ト云フヤウナ小額所得者ハ社會ノ弱
者デアリマス、ソレハ人間のニ考慮シタク
テハナラヌ、對人的ニ考慮シナケレバナラ
ヌ、而モ此ノ對人的考慮ガ周到ニ行届キマ
スノガ此ノ所得稅ノ長所デアル、所得稅ガ
最モ良稅デアル所以ハ、個別的ニ對人的ノ
考慮ガ行届ク點ニ在ル、然ルニ此ノ税制ニ
依リマスト僅ニ二百圓シカ所得ガナクテモ、
ソレガ不動産ノ所得デアリマスナラバ二十
圓ノ所得稅ヲ課セラレル、僅ニ五百圓ノ所
得デアリマシテモ、一箇月四十五圓シカナ
イ者デアリマシテモ、五十圓ノ所得稅ヲ課
スノデアリマス、是ハ一應本會議デモ委員
會デモ御答辯ハアリマシタガ、ソレ等ノモ
ノハ社會的弱者デアルト云フ見地ヲ更ニ考
慮シテ、何カ之ニ付テ措置ヲシナクテハナ
ラヌノデハナイカ、私ハ苦勞人デアラレマ
スル所ノ櫻内藏相ノ人情味アル御答ヲ願ヒ
タイ

○櫻内國務大臣 資産カラ生ジテ來マス所
ノ利益ニ對シテ控除ノアリマセヌノハ、是
ハドウモ今日ノ情勢カラ申シテ已ムヲ得ナ
イノデハナカラウカト思ヒマス、ソレカラ
事業所得ニ對シテ今ノ御話デアリマスガ、

事業所得ニ對シマシテハ借金ガアツタ場合
ニドウスルカ、是ハ借金ノ利子ヲ引クノデ
アリマス、ソレカラ大體ノ場合ニ於キマシ
テハ、普通勤勞者ト事業所得者及自由職
業者トノ間ニ差等ノアリマスコトハ、片方
ハ純然タル傭人デアリ、片方ハ自分ガヤツ
テ居ルト云フ相違ガアルノデアリマス、其
ノ點ニ付キマシテ多少ノ差等ヲ設ケタ、斯
ウ云フコトニナルノデアリマス

○森田委員 一寸關聯シテ——今西川君ノ
質問ニ對シテハ大藏大臣ノ御答辯ニ關聯シ
テ、私ハ丁度好イ機會デアリマスカラ御伺
シテ見タイノデアリマス、勤勞所得ト不動
產所得ト配當所得トノ間ニ税率ノ差ガア
ル、是ハ働ク人ヲ優遇シ、然ラザル不勞所
得ト云ヒマスカ、其ノ方面ノ人ニハ已ムヲ
得スト云フヤウナ意味ノ御答辯デアリマシ
タ、稅ノ詳シイコトハ大藏大臣ヲ煩ハシテ
ハドウカト思ヒマスガ、ソレデナク常識的
ニ私ハ斯ウ考ヘラレノデス、先般モ京都
ノ或人カラ手紙ヲ寄越シテ、自分ハ永年會
社ニ勤メテ居ル、サウシテ一時退職手當ヲ
四千圓バカリ貰ツテ、ソレデ安イ時ニ株券
ヲ買ツテ居ツタ、其ノモノハ所謂汗ノ結晶
デ買ツタノデアル、汗ノ結晶デアル從來
ノ月給ノ食ヒ餘シト、ソレカラ賞與若ク
ハ退職手當等ヲ以テ買ツタ株券デアルノ
デアリマスガ、ソレハ勤勞所得トノ差ハ
ナイト思フ、勤勞所得ト同ジ所得ガ形ガ
變ツテ出テ來タモノデアツテ、役人デ言
フナラバ恩給ミタイイナモノデアル、ニモ拘
ラズソレガ働ク人ニハ百分ノ六、吾々ノ働
イタ汗ノ結晶デ買ツタモノニ對シテハ百分
ノ十ト云フヤウナコトハドウモ合點ガ行カ
ヌ、勤勞所得ト變リハナイヤウニ思フ、

自分達ガ若シソレヲ否マレルヤウニナル
ト、節約セヨトカ後顧ノ憂ノナイヤウニ
儉約シテ貯金ヲシロトカ云フコトヲ仰シ
ヤツテモスル者ハナクナルガラウシ、
又サウ云フヤウナ方面ニ國ガ仕向ケテ
行クト云フコトハ善イ事デハナイデヤナ
イカ、辛抱スル人間ガ無クナル、是ハ日々
働イテ貰フ人ノ月給ニ課スル税率モ、從來
汗水流シテ得タ汗ノ結晶ニ對スル利得、家
賃トカ配當所得トカ云フモノニ對スル税率
ト變ルベキ性質ノモノデヤナイ、強ヒテ變
ルベキモノナラバ資本家ノ持ツテ居ル大キ
ナ所得、即チ今言フヤウナ意味ノ自分ノ働
キ出シタ金デナクシテ、他ノ方面デ資本ヲ
得タ人ノ所得ニ對スル税率ノ變ルコトハ已
ムヲ得スト思フガ、自分達ノヤウナ所得階
級、同ジ六百圓以下ノ者ハ勤勞所得ハ免除
サレ、自分等ソレデ食ツテ行ツテ居ル者ハ
課稅サレ、而モ率ガ違フト云フヤウナコ
トハ負擔ノ均衡ハ少クモ保ツ所以デヤアリ
マセヌ、同時ニ勤勞所得ト云フモノノ解釋
ガ政府ノ考ハ間違ツテ居ル、斯ウ云フ意味
ソ質問デアツタノデアリマス、ソレハ別ニ
書イタモノデナシニ、アナタノ常識デ答辯
シテ貰ヒタイ、アナタハ吾々ト同ジコトデ、
ヤハリ世間ガ分ツテ居ルノデカラ、ソレハ
君ノ方ガ間違ヒダ、ソレハ汗デ買ツタモノ
デモ税率ノ差ヲ付ケル方ガ宜イト思フ、或
ハ、イヤソレハ同感ダト云フコトデ、ドツ
チカニ常識的ノ答辯ヲシテ戴キタイ、法理
論デヤナイノデカラ

○西川委員 後程オ出デニナリマスカ
○高橋委員長代理 後程オ出デヲ願ツテ置
キマセウ
○櫻内國務大臣 森田君ノ御話デアリマス
ガ、私ハ少シ違フデヤナイカト思ヒマス、
何故ナラバ、モウ既ニ退職手當ナリ何ナリ
ヲ貰ハレテ、ソレダケノ利益ヲ生ミ出サ
ウナ資産ガ出來マスレバ、即チ一種ノ資産
ガ出來タノデアリマシテ、働カズシテ利益
ヲ生ンデ來ルノデアリマスカラ、ソコハ働
イテ居ツタ當時ト働カナクナツタ場合トハ
少シ事情ガ違フト思ヒマス、殊ニモウ少
シ違フ點ハ、勤勞所得ハ働イテ居リマス間
ハソレデ給金ガ貰ヘマスガ、死ンデシマ
ヘバ貰ヘナイノデアリマス、無クナツテ
シマフノデアリマス、然ルニ片方ノ方ハ
死ンデモ金ガ殘ル、斯ウ云フ譯デスカラ、
少シバカリ違ヒハシナイカト、斯ウ思ヒ
マス

○森田委員 勤勞カラ出タ勤勞所得デカラ、
財産ニ後日變ツテ行クカラ多少違フト云フ
御話デアリマシタガ、ソレハ多少違ヒマス、
強イテ言フナラバ、勤勞所得ノ孫所得ミタ
イナコトニナルノデアアルガ、併シナガラ
六十、七十二ナツタ人間ハ働カウニモ働カ
レスデヤナイカ、働カヌデ宜イヤウニ退職
手當ナリ賞與ヲ殘シテ置イテ、働イタ時ト
同額以下ノ收入シカナイ、若シサウスルト
斯ウ區別ヲ付ケテ見ナケレバナラヌ、御承
知ノ通り役人ハ、恩給ガアル、是ハ税率ガ
違フ、ソレカラ一時退職手當ヲ貰ツテ持ツ
テ居ル者ハ、御承知ノ通りニ百分ノ十納メ
ルト云フコトニナルト、ソレデヤヤハリ民
間ニ勤メテ居ル者ノ方ガ惡イノデスカ、ア

○高橋委員長代理 西川君ニ御諮リ致シマ
スガ、商工大臣ニ東北興業會社法案ノ委員
會デ一寸來テ貰ヒタイト云フコトデアリマ
スガ、一時退席ヲ願ツテ宜シウゴザイマスカ

ナクノ考ハ民間ニ勤メテ居ル者ノ方ガ惡イ
ノデ、官吏ヲ尊重スル意味ニ於テサウ云フ
風ニスル方ガ宜イト言ハレルノデスカ

○櫻内國務大臣 官吏ト普通ノ會社其ノ他
ニ勤メテ居ル人トノ相違ガアルト申シタ
デハアリマセス、日々働イテ居ル人ノ收入
ト、ソレカラ恩給ニシロ、退職手當金ニシ
ロ何ニシロ、一時貰ツタ金ヲ以テ遊ンデ居
ツテ收入ノアル者トハ、ソコニ多少相違ガ
アルト、斯ウ申上ゲタノデアリマス

○森田委員 森田ハソレデハ關聯トシテハ是
デ止メテ置キマスガ、大藏大臣ノ今ノ答辯
ノヤウナコトデハ満足セヌカラ、私ノ番ガ
廻ツテ來タ時ニ質問致シマス

○櫻内國務大臣 一寸一言附加ヘテ置キマ
スガ、恩給其ノ他ハヤハリ課稅セラレルノ
デアリマス

○大矢政府委員 先程カラ分類所得稅ノ各
種所得間ノ稅率ニ差等ヲ設ケテ居ルソレガ適
當カドウカト云フ御尋デアリマシテ、大臣カ
ラ御答ガアツタノデアリマスガ、尙ホ多少細
カイコトニナリマスカラ、此ノ際私カラモ御答
致シテ置キタネト存ジマス、先ツ自由職業
所得ト勤勞所得トノ間ニ差等ヲ設ケルノハ
當ヲ得ナイノデハナカラウカ、斯ウ云フヤウ
ナコトガ一ツアツタヤウデゴザイマスルガ、
ソレハ現行法ノ下ニ於キマシテモ、勤勞所得
ニ付キマシテハ二割控除、或ハ六千圓以上
ニナレバ一割控除ト云フヤウニ致シマテ控
除シテ居リマス、ソレデ自由職業所得ガ百分
七・五ノモノヲ一割控除致シマスルト丁度百
分ノ六ニナツテ居リマス、其ノ關係ハ現行
法デ見テ居ル差ト大體同ジダト、斯ウ御承
知置キヲ願ヒタイト思ヒマス、一ツハ自由
職業所得ニ於キマシテハ、必要ナ經費ハ差引

イテ所得ヲ見ルノデアリマスルガ、勤勞所
得ノ方ハ收入金全額ヲ見ル、斯ウ云フ點モ
アリマスルノデ、稅率ヲ盛ル場合ニハ、ド
ウシテモ其ノ點モ考慮シナケレバナラス、
ソレデヤハリ大體アル程度ノ開キヲ置クノ
ガ本當デハナカラウカ、斯ウ云フ風ニ考ヘ
テ居ル次第デアリマス

ソレカラ營業所得ト其ノ他ノ事業所得ト
ハ、現行法ノ下ニ於テハ是ハ勿論御承知ノ
通り一方ハ收益稅ガ課カツテ居リ、片方ハ
課カツテ居ナイト云フヤウナ關係モアリマ
スルノデ、ソレデ今度モ營業所得ニ對シテ
ハ百分ノ八・五、原始產業所得、自由職業所
得ニ對シマシテハ百分ノ七・五ト致シマシテ、
其ノ程度ノ開キハ付ケテ居ル次第デアリマ
シテ、或ハ從來ノモノニ比ベテ、詰リ比率ガ
多イトカ少イトカ云フ意見ニ付キマシテハ、
多少見ル人ニ依ツテ見解ノ相違ガアルカト
モ思ヒマスケレドモ、此ノ程度ノ開キヲ付
ケルノハ妥當デハナカラウカ、斯ウ考ヘタ
次第デアリマス

ソレカラ不動産所得ニ付キマシテ小額
ノモノマデモ課稅スルノハドウカ、斯
ウ云フコトデアリマスケレドモ、是ハ不
動產ノ賃貸ニ依ツテ生ズル所得デアリマ
シテ、現行ノ收益稅制度トシテヤハリ地
租モ免稅點ナシニ課稅シテ居ルノデゴザ
イマシテ、今度ハ手數ヲ省略スル意味カラ
百圓ノ免稅點ハ設ケテ居リマスガ、是ハ其
ノ負擔力ヲ考ヘタ譯デハゴザイマセヌガ、
兎ニ角ズツト下ノ方カラ課稅シテ居ルト云フ
ノハ、ヤハリ從來ノ收益稅制度ニ於テモ、
不動産ニ付テ同ジヤウナ課稅ガアツタ、此
ノ點デ申上ゲテ置キマス

○森田委員 今主稅局長ガ横ツチヨカラ出
テ——私ガ問ウタノハ大藏大臣ニ斯ウ問ウ
タ、明瞭ニシテ置カナイト、枝葉ヲ啖カシ
テ答辯ニ「カムフラージュ」スルヤウナコトヲ
ヤツテソコヲ庇ウテバイカス、私ガ問ウタ
ノハ勤勞所得ハ百分ノ六デアル、然ルニ勤
勞所得ト同様ノ所得、即チ給料トカ賞與ト
カヲ殘シテ置キ、退職手當ト云フヤウナモ
ノヲ以テ買ウタ株券トカ或ハ家屋ト云フモ
ノデ生活シテ居ル者ハ勤勞所得ノ延長デハ
ナイカ、自分が以前取ツテ居ツタ給料ヨリ
ハ所得ノ方ガ低イ、自分が現職ニ出テ居ツ
タ時ニ取ツテ居ツタ給料ヨリハ低イ所得デ
アル、ドツチ途低イ所得ニナツテ居ツテ、
ソレデ一家ガ教育費モ出サナケレバナルマ
イシ、生活費ヲ賄ウテ行ツテ居ル、サウ云
フ小サナ不動産所得トカ配當所得ト云フ、
勤勞所得ノ延長ノ所得ニ對シテ百分ノ十ト
云フ高率ノ稅率ヲ課ケテ行クコトハ、勤勞
所得ノ稅率ノ六、是等ノ所得ノ稅率ノ十、ソ
コニ四ノ違ヒガアルカラソレハ如何ニモ違
ヒ過ギルガ、斯ウ云フ方面ニ付テハ大藏大臣
ハソレガ良イト思ハレルカ、今後會社銀行
其ノ他ノ勤勞者ガ貯蓄ヲスルト云フ觀念ノ
上カラ言ウテモ、サウ云フコトガ良イト思ハ
レルカ、惡イト思ハレルカト云フコトヲ私
ハ問ウタ、稅率ノ高イノ低イノト云フヤウ
ナ問題ハ、是カラ私ノ番ニナツタ時ニ話ヲ
スレバ分リマス、私ハ唯西川君ノ質問ニ關
聯シテ其ノ點ハ問ウタマデデ、大藏大臣ト
シテ御考ニナレバ直グ分ルト思フ、ソコハ
サウ云フ延長ノ稅率トシテハ高過ギル、私
ハ分類所得稅ヲ比例稅率ニシタノガ間違ヒ
ダ、分類所得稅ヲ一律ニ百分ノ十ニシタ所
ガ間違ヒデアル、ソコヲ從來ノヤウニ段階
式ニヤラズニ、五千圓マデハ一段階ニシ

テシマツタコトガ勤勞所得ト營業所得トノ
間ニ斯ウ云フ不公平ガ出テ來タ因デアル、
サウ云フ一般ノコトハ私ノ番ノ時ニ申シマ
スガ、今ノ差ガアルノハ私ハ宜クナイト思
フガ大藏大臣ハ常識ノ上ニ於テ、ヤハリサ
ウ云フ延長ノ勤勞所得ニ對シテモ百分ノ十
ガ宜イト思ハレマスカ御意見如何、斯ウ私
ハ問ウタウノデス

○大矢政府委員 森田委員ニ御答シテ
居ナカツタ積リデゴザイマシタ……

○櫻内國務大臣 我先刻來申ス通り、兎ニ
角何カラ生ズル金カト云フ問題デアルノデ
アリマシテ、其ノ人モ尙ホ其ノ上ニ働クコ
トガ出來レバ、働キサヘスレバ又更ニ收入
ガアルト思フノデアリマス、勿論年ヲ取レ
バ收入ハ減ルカモ知レマセヌガ、吾々ノヤ
ウナ者デモ働イテ居ルノデアリマスカラ、
ヤハリ或ル程度年ヲ取ツテモ働イテ居ルコ
トガ國家ノ爲デアルト思フゾデアリマス、
トガ國家ノ爲デアルト思フゾデアリマス、
兎ニ角働イテ勤勞ニ依ツテ得ル金ト、ソレ
カラ勞働ヲセズシテ自然ニ得ル金トノ間ニ
多少ノ開キガアツテモ、私ハ決シテ不當ト
ハ考ヘナイ、斯ウ云フノデアリマス

○西川委員 先程ノ主稅局長ノ答辯ハ私ニ
對スル御答辯ト承リマス、其ノ點ハ現行制度
ニ於テモ尙ホ地租ナリ、營業稅ナリガ還付
稅トシテ國稅ト變リ、又地方稅トシテモ變
ルノデアリマス、私ハモウ事務的ナ問答ハ
大體終ツタノデアリマスカラ實ハ大臣ニ御
問シテ居ルノデスガ、大臣ハ少シバカリ其
ノ差額ヲ付ケルノハソレハ妥當ダラウ、已
ムヲ得マイト言ハレル、私共モ少シバカリ
ナラソレハ宜カラウト思フ、所ガ實際ハ少
シバカリデハナイ、大臣ハ一々之ヲ計算シ

タリシタモノヲマダ御覽ニナツテ居ナイダ
ラウト思ヒマスガ、例へば二千圓ノ所得者
ヲ見マスと勤勞所得者ハ八十四圓、ソレキ
リデス、モウ他ニ何モ課カラナイ、唯市町
村ニ住ンデ居ルト云フ負擔分任ノ義務ヲ果
ス爲ニ、大都市ニ於テハ八圓、都市ニ於テハ
六圓、町村ニ於テハ四圓ヲ平均額トスル市
町村民税ヲ課セラレノミデス、然ルニ事
業所得者等ニ對シマシテ、是ガ營業者デア
ル場合ニハ營業稅ヲ加算致シマスルト二百
五十六圓ニナリマス、二千圓ニ對シテ勤勞
所得者ハ八十四圓、營業所得者ハ二百五十
六圓ニナリマシテ三倍ニナル、少シバカリ
ノ差等ハ是ハ當然ト思ヒマスルガ、三倍ノ
擔稅力ガアルカドウカ、是ハ大ニ問題デア
ルト思フノデアリマス、尙ホ事務當局ハ、
ソレハ現行制度ニ於テモサウナツテ居リマ
スト斯ウ言ハレマス、然ルニ茲ニ現行制度
ガ間違ツテ居ルナラバ、其ノ間違ツタノヲ
改メレバ稅制ノ根本的改革ガ行ハレテ居
ル、其ノ小額所得者ト高額所得者ノ負擔ノ
不均衡ヲ私共ガ質問ヲ致シマシタ時ハ事務
當局ハソレハ現在ハサウナツテ居ルケレド
モ、是ハモウ全然新ナ所ニ持ツテ行クノ
デアルカラサウナツテモ致シ方ガナイ、
現在ガ不均衡ダカラ今度モ不均衡ニナルノ
ハ已ムヲ得マイ、其ノ時ニ於テ用ヒタ武器
ト今度ノ武器ト違ヘテハイケマセス、常ニ
方針ハ一貫シテ居ナケレバイケマセス、現
在惡イノヲ根本的ニヤリ變ヘルナラバ、二
千圓ノ勤勞所得者ナラバ八十四圓、營業所
得者ナラバ二百五十六圓、是ハ三倍デス、
若シ是ガ地主デアリマスルナラバ三百六十
圓ノ負擔トナリマスルコトハ果シテ妥當ナ
リヤ否ヤ、少シバカリ差等ハ私共モ必要

ト思ヒマスルガ、斯ノ如キ差等ガ付イテ宜
イカドウカ、ソレニ尙ホ此ノ營業稅ハ地方
附加稅ニ伸縮性ヲ持タシテアル、而モ其ノ
地方稅ノ彈力性ト云フモノハ殆ド此處ニダ
ケアルノデアリマスカラ、内務大臣ニ質問
ヲ致シマシタ時ニモ明カデアリマシタヤウ
ニ、アレハ何處ガ制限カ分ラナイ、大體標
準ハ府縣ニ於テハ百圓ニ對シテ百圓、市町
村ニ於テハ百圓ニ對シテ二百圓、ケレドモ
市町村ニ於テハ二百四十圓マデハ許可ヲ受
ケズシテ課稅シ得ル、尙ホ必要ガアレバソ
レハ何處マデ伸ビルモノカ天井ハ決ツテ居
ナイ、此ノ點ハ丁度大臣ガ來テ居ラレマス
カラ、此ノ席デ其ノ天井ハ何處デアルカ、
是ハ聽イテ置カナイト不安デアリマス、大
體ノ標準ハサウサレテ居リマスケレドモ、
天井ガ何處ニアルカ分ラナイ、サウ云フ
コトニナルト勤勞所得ノ二千圓ハ八十四
圓、營業所得者ハ二百五十六圓、地主ナラ
三百六十圓、假ニ四千二百圓ト云フ所ヲ取
ツテ見マスと、勤勞所得者ハ二百十六圓、
事業所有者ハ五百七十五圓、地主ナラ七百
五十六圓ニナル、而モ此ノ下ニハ尙ホ天井
知ラズノ所ガアル、是ハ少シ妥當ヲ失シハ
シナイカ、此ノ點ニ付キマシテ大臣ノ御所
見ヲ伺ヒマス

○櫻内國務大臣 差等ノ問題デアリマスガ、
此ノ建前ハ先刻來申シマス通り、事業所得
者ノ方ハ、所謂主人ト言ヒマスガ、一方ハ
人ニ雇ハレテ居ル關係デアリマスガ、一方
ハ自分ノ自由ナ立場ニモアリマスシ、又其
ノ事業ニ依ツテ借りタ借金ノ利子ハ引ク
シ、ソレカラ色々ナ實際ノ實情カラ照シ
テ、此ノ事業所得ノ方が多少重イト云フ事
柄ハ必ズシモ不當デナイヤウニ考ヘテ居ル
ノデアリマス

○大矢政府委員 先程私ノ御答申上ゲタ中
ニ、或モノハ現行法ト變ル、ソレハ變ツテ
モ宜イ、或モノニ付テハ現行法ハ斯ウダカ
ラ今度モ斯ウナツテ宜イノダト言ツテ、自
分ノ都合ノ好イ方バカリ引例スルト云フ御
話デアリマスガ、一見其ノヤウニ御感ジニ
ナルカモ知レマセスガ、サウデハゴザイマ
セス、分類所得稅ハ、所得ノ種類ノ異ル毎
ニ其ノ負擔力ニ應ジテ課稅スル建前デ此ノ
ヤウニシタ、ソコデソレダケノ差等ヲ設ケ
ルノハドウカト云フコトニ付テハ、見ル人
ニ依ツテ多少意見ノ違ヒガアルカモ知レマ
セヌケレドモ、兎ニ角政府トシテハ此ノ程
度ノ差等ヲ設ケテ然ルベキモノト思ツテ居
ル、現行ノモノニ付テモ大體同ジヤウナ差
等ハ設ケテアル、斯ウ申シテ居ルダケデ、
現行ガ此ノ通りニナツテ居ルカラ今度モ是
デ宜イノダト云フ風ニハ申上ゲテ居ラス積
リデゴザイマスカラ、其ノ點一ツ御諒承願
ヒタイト思ヒマス

ソレカラ勤勞所得ト營業所得ニ付テデゴ
ザイマスガ、前ニ申上ゲマシタ通り、勤勞
所得ハ元ノ稅法ニ於テハ或ハ二割控除シタ
ノヲ所得ニ見ルトカ、一割控除シタモノヲ
所得ニ見ルト云フコトニ致シテ居リマシタ
ノヲ、此ノ度ハ收入金ヲ其ノ儘所得トシテ
稅率ヲ盛ルト云フコトニ致シテ居リマス、
ソレデ營業所得ノ場合ニ於テハ、收入金カ
ラ必要ノ經費ヲ控除シタ其ノ殘額ヲ所得ニ
見ル、斯ウ云フ風ニシテ居リマスノデ、今
度ノ稅法デ同ジク所得ト言ツテモ、又ソコ
ニ差ガアルノデゴザイマシテ、勤勞所得者
ニハ必要ノ經費ハ全然ナクテ宜イカト云フ
ト、必ズシモサウデハナクテ、通勤費トカ

洋服代トカ色々アルダラウト思ヒマス、斯
ウ云フモノヲ見ナイデ收入金全體ヲ所得ニ
見テ稅率ヲ盛ツテ居ルト云フ點モアリマス
カラ、其ノ點モヤハリ同ジ千圓ノ所得者ニ
於テ、勤勞所得ト事業所得ノ負擔ガ重イカ
輕イカト云フコトヲ見ル場合ニ、其ノ千圓
ノ所得ノ内容自體ニモ差ガアルト云フコト
ヲ御認メヲ願ヒタイト思ヒマス

○西川委員 私ハ事務當局ニ對スル質問ハ
一應済ンデ大臣ニ聽イテ居ルフデアリマス
カラ、サウ云フ御答辯ハナサラヌ方ガ審議
ノ進捗上好イノデハナイカト思ヒマス、例
ヘバ今ノ控除ノコトデアリマスケレドモ、
是ハ現行法ニ於テハ基礎控除トシテ事業所
得ハ四百圓デアルケレドモ、六百圓デ、ヤ
ハリソコニ差等ヲ付シテ居ルノデアツテ、
其ノ點ガナクナツタ譯デハナイ、ソレヲ事
務當局カラサウ云フ風ナ答辯ヲサレマスと、
又色々ト審議ガ混雜スルノデハナイカト思
ヒマス、マア答辯サレテモ宜シウゴザイマ
スガ……

○森田委員 一寸關聯事項デ伺ヒタイノデ
スガ、今聽イテ居ルト、月給取ノ月給ハ控
除シナイ、收入金ニ依ル、從來ハ八掛デシ
タガ、ソレヲ引カナイト云フ、一方ノ事業
所得、營業所得ノ方ハ必要ノ經費ヲ引クト
言フノデスケレドモ、アレハ從來ノ必要ノ
經費トハ變ツテ來タノデス、從來ハ營業ヲ
ヤツテ居ル必要ノ經費ハ引イテ居ルガ、其
ノ中ノ家事費デアルトカ、今アナタノ御話
ニナツタ洋服代ノヤウナモノハ引イテ居リ
マセス、賣上金額カラ營業ニ要スル仕入代
金ヲ拂ツテ、其ノ營業ニ必要ナ經費ヲ引イ
テ居ツタ、サウシテ其ノ殘リデ生活シテ居
ツタ、ソレハ月給取ガ月給ヲ貰ツテ居ツタ

ノト同ジヤウニ、其ノ殘金カラ洋服代モ負擔スレバ全部悉ク營業者ハ負擔シテ居リマス、今度改正ノ結果、アナタハ洋服代モ認メ、米代モ認メ、色々認メルト云フノナラ、アナタノ說ハ肯定致シマス、サウデナイノナラ今ノアナタノ引例ハイカス、ヤハリ是ハ勤勞所得ニ好クナツテ、事業所得ニ惡クナツテ居ルト、アツサリトハツキリ言ハレタ方ガ宜イト思ヒマス

○大矢政府委員 私ハ勤勞所得者ニ於テハ收入金其ノ儘ヲ所得ト見ル建前ニシテ居ル、併シ通勤費、洋服代ト斯ウ申上ゲタノデス、洋服代ト云フノハ少シ範圍ガ不明確ナ點ガアリマスガ、特ニ洋服代ト言ヒマシタノハ、家ニ於テハ普通和服ヲ著テ居ル、是ハ生活費ニ入りマスガ、會社ヤ役所ニ出ル場合ニ洋服ヲ著テ出ル、普通ノ生活以外ニ其ノ勤勞所得ヲ得ル爲ニ別ニ洋服ヲ拵ヘル、所謂二重生活ヲシテ居ル、其ノ費用ハヤハリ經濟上ノ實體カラ言フト、生活費其ノモノトハ違フノデハナイカ、斯ウ云フコトヲ申上ゲタ次第デアリマス、其ノ點ハ或ハ多少誤解ヲ招クヤウナ言葉ガアツタカモ知レマセスガ、通勤費ハ少クトモ生活費デハナイト存ジマス

○瀧澤委員 關聯致シテ居リマスカラ一點ダケ伺ヒタイ、勤勞所得ト事業所得ガ三倍モ違フヤウナコトヲサレマス、事業ニ携ツテ居ル中小商工業者ノ爲ニハ非常ナル影響ヲ與ヘル、ナゼカナレバ本所深川ト云ハズトモ、東京ニ於ケル中小商工業者ガ工業ニ從事シ、商業ニ從事スル場合ニ於テハ、一家總動員、家中ガ働イデモ、尙ホ且ツ今日デハ食ヘルカ食ヘナイカト云フコトニナツテ居ル、勤勞所得者ノ如ク其ノ本人ダケ

働イテ、アトノ者ハ遊ンデ居ツテモ宜イト云フ狀態ノ人ト、事業所得者ト比ベテ見タラ、其ノ方ガ多イ、此ノ點ニ付テハ私ハ非常ニ中小商工業者ヲ擁護シテ行カケレバナラスト云フ今日ノ建前ノ上カラ、相反スル課稅方針ダト思ツテ居リマスカラ、其ノ點ヲ此ノ場合ニ所信ヲ明ニシテ置キマス

○堀切委員長 今多少ノ差ヲ設ケルノハ致シ方ガナイト云フノデスガ、二倍モ三倍モト云フノハ多少ト云フ譯ニハ行クマイト思フ、多少ト云フノハ多少ノ程度マデ多少ト云フ意味ニ考ヘテ居ルノデスカ

○大矢政府委員 此ノ點ハ二倍、三倍ニナルト云フコトハ、全體ヲ通ジテサウ云フ風ニナツテ居ナイノデアリマス、但シ小額所得者ニ於キマシテ地方團體ノ財源トナル營業稅ハ、全ク比例稅率デ行ツテ居ル關係上、隨テ千圓トカ八百圓トカ云フ階級ニ於キマシテハ、所得稅其ノモノヨリモ此ノ地方ノ營業稅ノ負擔ガ強ク現ハレテ來テ居ルヤウニナル次第デアリマス、ソコデモツト多額ノ五千圓トカ一万圓トカ云フ風ニナルト、決シテサウ云フ風ナ違ヒガ起ツテ來ナイト思フノデアリマス

○櫻内國務大臣 此ノ稅ノ建前ガ御承知ノ通り、詰リ資本カラ出タモノト働ク者トヲ區別スル建前カラ出テ來テ居ルノデアリマシテ、ソレガ或ル點ニ付キマシテ多少大キナ差ガ出テ居ルカモ知レマセヌケレドモ、或ハサウ云フ場合ガ出テ居ルカモ知レマセヌケレドモ、ソレハ根本ノ建前ガ今言フ通り勤勞デ働イテ居ルノト、ソレカラ今ノ事業資金、資本金ガ要ル所ノモノガ含ンデ居ルノト、ソレガ含マレテ居ルノト居ラヌノトニ依ツナ差等ヲ設ケテ居ルヤウナ次第デア

リマス、今一ツ一方ハ雇人ノ勞務者デアリ、一方ハ主人デアルトカ、或ハ半バ資本主ニナルト云フヤウナ關係ガアリマスノデ、其ノ點ニ於テ差ヲ設ケタノデアリマス

○西川委員 主税局長ハ二千圓程度ナラバ三倍ニナルガ、併シナガラ上ノ方ニ行クト必ズシモサウデナイト言フノデアリマスガ、私共モサウ思ヒマス、併シナガラ私共ガ特ニ勤勞所得ト事業所得トノ負擔ノ關係ヲ考慮シナクテハナラナイノハ、二千圓程度ノ所デス、高額收益ヲ上ゲマスルナラバ營業デヤナイ、是ハ勤勞所得者ト截然ト區別シテ考ヘテ宜イノデス、併シナガラ此ノ二千圓ノ程度ノモノハ、モツト不均衡ニナリハシナイカ、今日營業所得デハ二千圓位ノ所得ヲ上ゲルモノハ一體ドシテ營業ヲシテ居ルカ、街ヲ御覽ナサイ、ドウ云フ營業ヲシテ居ルカ、自分ノ家内モ、親モ、子供モ、朝早くカラ、夜遅クマデ働イテ、サウシテソレ等家族ヲ勤勞ノ結果ヲ合體シマシタルモノガ二千圓位ニナツテ居ルノデス、所ガ若シモ勤勞所得者ガ共稼ギデ二千圓ヲ上ゲルト致シマスナラバ、六百圓ノ基礎控除ハ、二人分ヲ控除致シマスカラ、詰リ之ニ對シマシテハ極メテ僅カシカ課カラス、營業所得者ナラバ一家總動員デ、只今瀧澤君ガ言ハレマシタヤウニ、汗水垂ラシテ夜遅クマデ働イテ、而モ地方稅ヲ加ヘマスルト二百五十六圓ノ負擔ヲシナケレバナラナイコトニナル、是ハ三倍デヤアリマセヌ、實際ニ若シ二人ノ共稼ギノ場合ヲ假定致シマスナラバ、四倍ニモ五倍ニモナル、隨テ是ハ政治的ニ考慮シナケレバナラナイ、是等ハ單ニ理窟ノ上ニ因ハレテ私共議論シテハ居ラレナイノデス、實際ノ生活ノ實體ヲ把

握シテ、本當ニ血ノアル政治ヲシナケレバナラナイ、血ノアル、涙ノアル政治デナクテハナラス、サウ云フ見地カラ考慮スル必要ハナイカ、私ハ率直ニ大藏大臣ノ心情ヲ披瀝サレンコトヲ希望スルノデアリマス

尙ホ此ノ際內務大臣ニ先般ノ最高限度ノコトニ付テ伺ヒマスガ、何處カラ以上ハ課ケサセナイト云フ附加稅ノ限度ノコトニ付テ、此ノ際明ニシテ戴キタイ

○櫻内國務大臣 今私カラ此ノ稅制ノ修正ヲスルト云フ風ナ考慮ヲ率直ニ言ハヌカト云フ御話デアリマスガ、此ノ問題ハ御承知ノ通り、所謂中小產業者ト申シマスガ、是等ノ人々ガ若シ其ノ事業ニ投ジタル資本ノ借金ガアリマシタナラバ、ソレノ利子ハヤハリ控除スルノデアリマス、又扶養家族ノ問題モヤハリ控除スルノデアリマス、唯御話ノ收入ガ、勤勞階級ノ方ニ多クテ、中小產業者ノ方ニ少ナイト云フコトニナリマスレバ、ソレハヤハリ稅率ガ下ルノデアリマス、ソレカラ先刻來モ申ス通り、此ノ收入ハ家賃ノ如キモ或ル程度ハ引クノデアリマシテ、片方ノ勤勞者ノ方ハサウ云フコトガナイノデアリマシテ、自ラ其處ニ緩和スル所ガアルドラウト考ヘテ居リマス

○兒玉國務大臣 地方附加稅ニ付テノ伸縮性ハ無論認メテ居ルノデアリマス、最高限度ヲ如何ニスルカト云フコトニ付キマシテハ、是ハ地方ノ事情ニ依ツテモ違フ點ガアリマスノデ、一概ニ是レト云フコトヲ申上ゲニクイ點ガアルト思ヒマス、隨ヒマシテ是ハ監督官廳ノ許可ヲ得テ、常識的ニ地方ノ事情ニ合フヤウニ、之ニ最高限度ヲ定メナケレバナラナイノデアリマス、其ノ最高限度ニ付キマシテハ、地方ノ事情ニ應ジマ

シテ、地方ノ人民ニ過重ナ負擔ヲ課セルト云フ事柄ハ十分ニ避ケナケレバナライ、斯ウ思ツデ居リマス

○西川委員 ドウモ只今ノ大藏大臣ノ答辯モ勿論吾々ハマダ承服シマセスガ、内務大臣ノ御答辯ニハ吾々ハ承服シ難イノデアリマス、地方ノ事情ニ依ツテト言ハレル、其ノ地方ノ事情ニ依ルト非常ニ是ハ高クナル虞ガアル、地方ノ事情ニ依リマスルト、私ガ昨日御尋致シマシタ通りニ、ソコガ非常ニ高クナル危險ガアル、ソコデサウ云フ風ニ無限ニ高クナルモノガ從來ノ戸數割デアツタ、其ノ戸數割ノ弊害ヲ矯正スル爲ニ、市町村民税ニ於キマシテハ千圓ノ限度ガチヤント置イデアアル、此ノ場合千圓ノ限度ニ付キマシテハ大イニ考慮スル餘地ガアル、今日何万圓ト云フ戸數割ヲ納メテ居ル人ガアル、或市ニ於キマシテハ、其ノ中ノ一富豪ガ殆ド全市ノ財政ノ六七割ヲ賄ウテ居ルヤウナ戸數割ヲ負擔シテ居ル場合モアル、ケレドモソレ等モ、今マデ數万圓ノ戸數割ヲ納メテ居ツタガ、今後ハ一千圓以上ハ課ケナイ、是ハ町村モ市モ、大都市モ一律ニ千圓ト押ヘラレテ居ルガ、サウナルト獨リ農民及ビ中小商工業者ノ負擔ガ重クナツテ、今マデ戸數割ノ弊害トシテ取ラレテ居ツタモノガソコニ轉嫁サレサウナ形勢ガアル、農民、中小商工業者ノ負擔ニナル、營業稅及ビ地租ノ附加稅ノ上ニ、地方ノ事情ニ應ジテ伸縮ヲ認メルト云フヤウナ、サウ云フ定見ナイ御答デハ、吾々ハ此ノ儘此ノ案ハ承認スルコトハ出來ナイ、只今直チニ此ノ場デ幾ラト云フコトニ御決メニナルコトハ大臣ノ肚一ツデハ御決メニナルカモ知レマセヌカラ、是ハ御協議ノ上、此ノ委員會ノ繼

續中ニ於テ御答アラシコトヲ私ハ望ミマス、ソレニ對スルハツキリシタ御答ガナイ限り保留シテ置キマス、

○兒玉國務大臣 只今ノ御話デアリマスガ、私ノ考デハ今ノ營業稅、其ノ他ノ附加稅ガ途方モナク何處マデモ上ルト云フヤウナ事情ハ、此ノ稅制ニ於テハ有リ得ナイコトデハナイカト存ジテ居リマス、ト言ヒマスノハ、サウ云フ貧弱ナル農村ヲ救フ所以ノモノガ今同設ケラレタル分與稅デアリ、配付稅デアアルノデアリマス、配付稅ヲ設ケタ所以ノモノハソコニアリマスノデ、其ノ配付稅ノ按排ヲ致シマスナラバ、ソナニ上マデ上ツテ行ク、農民ガ食ヘル力食ヘヌカノ所マデ行クヤウナコトハナイ、サウ云フ風ニナラヌヤウニ今回ノ地方稅制ニ於テ配付稅ヲ認メテ居ルノデアリマスカラ、只今ノヤウナ極端ナコトヲ仰セラレルト、ソレハ議論ニナリマスルガ、サウ云フ場合ガナイ爲ニ今回ノ稅制制度ガ組立テラレテ居ルモノデアアル、地方ノ均衡ヲ保チ、地方ノ振興ヲ圖リ、成ベク此ノ負擔ノ均衡ヲ得ルヤウニト云フノガ精神デアアルノデアリマスカラ、只今御話ニナリマシタヤウナ極端ナ例ヲ御出シニナリマスコトハ如何ナモノカト思ヒマスノデ、一言申上ゲテ置キマス

○西川委員 ソレハ大臣ノ御答ニナル點ト、私ノ質問トハ的ガ違フノデス、私ハ此ノ制度ヲ問題ニシテ居ルノデアリマス、大臣ハ實體ヲ捉ヘテ常議論ヲシテ居ラレル、ケレドモ私ハ之ヲ制度ノ上ニ於テハサウナリ得ル可能性ノアル制度ニナツテ居ルト思フ、ソレナラバ今度ノ市町村民稅ヲ設ケテ戸數割ヲ廢止シタ趣旨ニ鑑ミ、市町村民稅ノ性質ニ鑑ミテ、之ニモ限度ヲ設ケヌデモ

宜イデヤナイカ、常識的ニ任シテ置イテ、地方ノ事情ニ應ジテヤレバ宜イ、ケレドモ市町村民稅ハ千圓ト云フコトデ押ヘテ居ツテ、一方ノ方ハソレハ制度ニ於ケル規定ガナイカラ、ヤハリソレハ何トカ此ノ際シテ置カナケレバナラヌト斯様ニ申上ゲルノデアリマス、其ノ點ハ御協議ノ結果後デモ宜シウゴザイマス、御答辯ヲ御願致シマス

○兒玉國務大臣 制度ノ上ニ制限ヲ設ケルト云フ事柄モ、是ハ事態ニ依リマシテ必要ガアリマスルナラバ、此ノ伸縮性ヲ認メタ以上ニ於キマシテハ、一面ニ於テハ只今分與稅ノ制度ニ依ツテ極端ナル課稅負擔ヲ課ケナイヤウニト云フ事柄ヲ念ト致シマシテ、或ル一定ノ程度以上ニ於キマシテハ、監督官廳ガ行政上ノ計ヒニ依リマシテソレヲ阻止スルコトガ出來ルノデアリマスカラ、是ハ法律上ニ於テ定メタノト、行政上ニ於テ定メタノト、手續コソ違ヒマスケレドモ、ソコニ自ラ同ジ結果ヲ生ズルノデアリマスノデ、只今申上ゲマシタヤウニ極端ナ場合ハ起リ得ナイト、斯ウ云フ風ニ實ハ考ヘテ居ルノデアリマス

○西川委員 市町村民稅ノ方ニ於テハ制度ノ上ニ於テ限度ヲ定メル、併シナガラ一方ニ於テハ制度ノ上ニ於テ限度ヲ定メナクテモ宜イト云フコトハ、私ドウモ承服出來マセヌ、併シナガラ何度押問答シテモ仕樣ガアリマセヌカラ此ノ上押問答ハシマセヌガ、是ハヤハリ當局トシテ十分御考慮ニナル方ガ宜イト思フ、勿論是ハ此ノ案ヲ取扱フ上ニ於テハ私共ハ考慮シナケレバナラヌノデスカラ、成ベク制度ノ上ニソレヲ設ケズニ、出シタ何處マデモソレヲ頑張通シテ行カウト云フヤウナ態度デナイ方ガ宜イト

デハナイカト私共ハ考ヘテ居リマス、私共ハ本案ノ全般ヲ檢討致シマシテ——私ノ檢討ハ極メテ僅カナ部分シカ檢討致シテ居リマセズ、尙ホ商工大臣ノ御出席ノ上デ色々檢討シナケレバナラヌ點モアリ、又他ノ委員カラ檢討サレル點モアリマセウガ、可ナリヤハリ缺陷ガ多イト思ヒマス、成程理論的ニ舊イモノ必ズシモ惡クハナイト内務大臣ハ言ハレマシタガ、舊イ外國ノ租稅原則カラ考ヘテ理窟ハ通ルカモ知レマセヌガ、現實ノ社會的實體ニ即シテ吾々ガ考ヘマス時ニ、相當缺陷ガ多イト存ジマスルノデ、

是ハヤハリ委員會トシマシテハ慎重ニ考究シナケレバナラヌト思ヒマスガ、其ノ際ニ私ハ成ベク稅ハ少イ方ガ宜イト思フ、斯ウ云フ所ニ稅ヲ取ル餘地ガアルカラソレモ取レ、是モ取レ——ト云フ風ニハ言ヒマセヌガ、併シナガラ、數種ノ稅源ガアツテ、其ノ何レヲ選ブカト云フ場合ニ於キマシテハ、何レモ長短ガアリマセウガ、長短ヲ能ク考慮シテ、而シテ少クトモ今日ノ場合ニ於キマシテハ、成ベク國民生活ヲ壓迫セズ、又生産力ノ擴充ヲ妨ゲナイ制度ヲ選バナクテハナラヌト思ヒマス、茲ニ私ハ新ナル一ツノ稅源ニ付テ指摘シテ、當局ノ御意見ヲ求メタイ、勿論是ハ私共ハ財政産業ノ全般ノ所謂建直シヲシマシテ、國民生活モ壓迫セズ、生産力ハ大ニ擴充シテ、而シテ稅ハ輕減シテ、而モ國ノ財政ノ基礎ヲ確立スルト云フ一ツノ案ヲ持ツテ居リマスガ、ソレハ此ノ際披露ハ致シマセヌ、是ハ吾々ガサウ云フ政策ヲ行フ時ニ天下ニ提案スレバ宜イトデアリマシテ、今日ハ現内閣ノ執ツテ居ラレマスルヤウナ建直ニ即シテ考ヘル外仕方ガナイガ、私共ハ斯ウ云フ事ハシタ

クナイ、吾々ハ稅ハ、成ベク取ラナイデ、生産力ヲ大ニ擴充シテ、國民生活ヲ向上セシメテ、サウシテ國家ノ財政ノ確立ヲスルト云フ一善良イ案ヲ行ヒマス、ケレドモ、此ノ案ノ御取扱ニ關シマシテ、一ツノ私ハ新規ノ稅源ニ付キマシテ當局ノ意見ヲ求メクイ、ソレハ現在ノ對外對策ノ關係ニ於キマシテ、爲替ノ管理ヲ致シマス、此ノ爲替ノ管理ハ、是ハ政策ノ必要上自然的ナ價格ヨリモ遙ニ高イ所ニ爲替ノ價值ガ維持サレテ居ルト云フコトハ、是ハソコニモ議論ガアルカモ知レマセヌガ、併シ一ツノ政策ノ建前上、或ル一點ガ維持サレテ居ル、其ノ結果今日ノ貿易狀況ヲ見マスルト、海外ニ物ヲ輸出スルコトハ、色々ノ情勢上非常ニ困難ナルケレドモ、輸入スルコトハ爲替ノ許可ヲ得サヘスレバ極メテ易イ、而シテ爲替ノ價值ト國內ノ物價ト海外ノ物價トノ關係上、此ノ輸入ノ利益ト云フモノハ相當ニ多ク取り得ル可能性ガアル、少クトモ之ニハ安定性ガアル、輸入ノ利益ハ安定性ガアル、絕對必要ノ物シカ輸入シマセヌシ、其ノ物ハ假令統制ニ依ツテ輸入シタ物ノ價格ガ相當抑ヘラレテ居リマセウトモ、ヤハリ安定性ガアル、而モ之ニハ相當ノ利益ガアルト云フコトヲ私ハ知ツテ居ル、而モ是ガ許可ヲ受ケル者ハ極メテ少數ノ人デアルト私共ハ思ツテ居ル、其ノ爲替ノ許可ヲ受ケマスル者ハ、其ノ大部分ノ額ガ少數ノ者ニ與ヘラレテ居ル、全部ノ人數ハ相當ニ上リ僅カノ金額ガ分散サレテ居リマセウガ、大キナ金額ハ少數ノ人ニ與ヘラレテ居ル、サウスルト假ニ何億許可サレテ居リマスカ、私ハ的確ナル數字ハ持チマセヌガ、三十億近イモノガ許可サレテ居ルノデハナ

イカ、然リトスルナラバ、此ノ三十億ノ爲替ノ許可ニ際シテ、爲替ノ差益稅トモ申シマス、此ノ爲替管理ト云フ政府ノ政策ノ下ニ於テ、政府ノ爲替許可ト云フ一ツノ特許ニ依リテ生ジマスル利益、其ノ差益ヲ幾分カ國庫ニ納メシムル意味ニ於キマシテ、一ツノ稅源ヲ求メテハドウデアアルカ、假ニ一割取ルナラバ三億、假ニ百分ノ一取リマシテモ三千万圓、百分ノ五ヲ取ルナラバ一億五千万圓、吾々ハ稅金ハ成ベク少イ方ガ宜イト思ヒマス、斯ノ如キ稅ヲ取ルコトハ贊成デハナイガ、只今指摘シマシタヤウナ小額所得者ノ甚シキ負擔ノ重壓、小額所得者ノ生活難、又事業所得者ハ又小額ノ不動產所得者ノ非常ナル苦痛ヲ救フ爲ニハ、此ノ方ニモ多少——多少デハアリマセヌ、大イニ缺陷モアリマセウケレドモ、雙方ノ長所短所ヲ睨ミ合セマスナラバ、私ハ此ノ爲替ニ對シマシテ何等カノ考慮ヲスベキデハナイカト思ヒマス、之ニ對スル當局ノ御見解ヲ伺ツテ見タイ

○櫻内國務大臣 今西川君ノ御話ノコトハ或ハ一ツノ方法デアアルカト思ヒマス、現在ハサウ云フ爲替許可ヲ得テ輸入シタ者ガ、ソレニ依ツテ利益ヲ得マシレバ、普通ノ所得稅ノ外臨時利得稅等ニ依リマシテ、可ナリ重イ課稅ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、ソレ等ノ者ガ利益ヲ得テ居ル場合ニハ、相當ナ稅ヲ賦課シテ居ルヤウナ譯デアリマス、隨ヒマシテ、假ニ御説ニ從ツテ實行致ストシマシテモ、最後ニドレダケノ利益ガ現ハレテ來ルカ云フト、今直グニ御話ノヤナウ風ニ利益ガ生レテ來ナイト思ヒマス、只今ノ所デハソレハ臨時利得稅等ニ依ツテ其ノ結果ガ現ハレテ來ルノデ、サウ云フ稅

金ヲ設ケルト云フ風ナ考ハ持ツテ居ラナイノデアリマス、ケレドモ折角ノ御注意デアリマス、十分研究シテ見タイト思ヒマス、尙ホ非常ニ名案ヲ御持チノヤウデアリマス、今日ノ如キ國家危急ノ際デアリマス、若シ名案ガゴザイマシタラ御教ヲ願ヒタイト思ヒマス

○西川委員 只今爲替ノ許可ヲ受ケテ輸入ヲシテ利益ヲ得ル者ハ、現在ノ所得稅或ハ臨時利得稅等ニ於テ相當ノ負擔ヲスルカラ構ハナイデハナイカト云フヤウナ御意見モアツタヤウデアリマス、私ハソレハ其ノ儘承服シ難イト思フ、例ヘバ茲ニ提案サレテ居リマス配當利子特別稅ノ如キ、現在ニ割五分ナリ二割ナリ配當致シテ居リマスノハ、何モ政府ノ政策ノ結果、或ハ政府ノ特許ノ結果ト云ヒ難イノデス、過去ニ於キマシテ其ノ會社ノ經營ニ非常ニ苦心努力ヲ致シマシテ、又其ノ株式ヲ取得スル爲ニハ、其ノ二割配當ニ依ツテ還元サレタ株價ヲ以テ其ノ株式ヲ買ウテ居ル、ソレニモ拘ラズ一定限度以上ノ配當ヲ致シテ居リマスモノニ對シマシテハ、配當利子ニ特別稅ヲ課シマシテ、其ノ超過配當ノ部分ニ對シテハ、特別ニ國庫ノ收入ヲ擧ゲテ居ルノデアリマス、然ルニ是ハ政府ノ政策、政府ノ特許ニ依ツテ生ジテ居ルモノデアリマス、當然ソコニ財政上考慮シテ宜シイ、私ハ斯ウ云フ風ナ現下ノ財政事情デナイ限リハ、左様ナコトハ勸メマセヌケレドモ、此ノ非常ニ吾々トシテ考慮シナケレバナラヌ課稅ヲモ敢テシナケレバナラス時ニハ、是モ考ヘナケレバナラス、又其ノ收入ニ付テハ多クノモノヲ期待シ得ナイト云フコトデゴザイマシタガ、然ラバ

私共數字のニ其ノ内容ヲ知リタイノデゴザイマシテ、只今直グニトハ申シマセヌガ、爲替許可ヲサレテ居リマスモノハ何處何處デアツタカ、ソレハ全部トハ申シマセヌ、一定限度以上デ宜シイ、ソレカラ其ノ爲替ニ依ツテ輸入致シマシモノノ輸入原價、ソレハ又今日ハ色々配給統制サレテ居ルト思ヒマス、配給サレマシタ價格、又其ノモノノ内地ニ於テ生産シタ價格、只今私ガ申上ガマシタヤウナ數字のニ的確ナル根據ヲ得ルノ材料ヲ、此ノ委員會ニ提供サレンコトヲ求メテ置キマス、只今ノ質問ニ對スル御答辯ヲ伺ヒマス

○櫻内國務大臣 爲替輸入許可ニ對スル稅金ヲ賦課スルト云フ問題デアリマス、大藏省トシテノ見解ハ、先刻來申ス通りソレガ結局利益ヲ産ムモノナラバ、他ノ方面ニ於テ利益ガ現ハレテ來ルノデアリマシテ、其ノ稅金ヲ特ニ設ケテヤルコトノ必要ガアルカナイカト云フコトニ付キマシテハ、先刻申シマス通り折角御好意アル御注意デアリマス、私ハ現在ノ所ニ於テハソレガドレダケノ效果ヲ現ハスカニ付テマダ能ク判斷ヲ致シマセヌノデ、ソレニ對シテ可否ノ如何ヲ申上ゲルコトハ出來ナイノデアリマス、只今ノ所ハ先刻來申シタ通りノ考ヲ持ツテ居ルノデアリマス、サウシテ輸入許可ニ關スル所ノ問題ハ、色々ナ軍需資材デアルトカ、或ハ民生力擴充資材デアルトカ、斯ウ云フモノガ主ナモノデアリマシテ、是等ニ直接課稅スル場合ハヤハリ其ノ原價ヲ高ニモ影響ヲ及ボスノミナラズ種々ハ考慮

シナケレバナラヌ點ガアルト思フノデアリマス、其ノ内容ニ付テハ一應調ベテ見マスガ、或ハ申上ゲ兼ネルヤウナモノモアルカト存ジマス、此ノ以外ニ御承知ノ通り輸出ニ「リンク」シテ居ルモノハ今爲替ヲ許可シテ居リマスガ、是等ハ大體ニ於テソレヲ輸入シテ直ニ輸出シテ居ルノデアリマシテ、單ニ爲替ノ許可ヲ得ク爲ニドレダケノ利益ヲ擧ゲテ居ルカト云フ所ノ區分等モ、簡單ニハ出來ナイデハナカラウカト考ヘテ居リマス、兎ニ角此ノ點ニ付キマシテハ十分研究致ス積リデアリマス

○西川委員 只今ノ御答辯デゴザイマスルガ、直接ニ特別ノ稅ヲ取ラナイデモ、他ノ方面ニ利益ヲ産シテ居ル稅ガ課カレ點カラ宜イデハナイカト云フ御答辯ハ、根本的ニ數字ヲ吟味シマシテ非常ニ違フト思フ、例ヘバ十萬圓ノ爲替ノ許可ヲ得マシテ一萬圓ノ利益ヲ得ルトスル、十萬圓ニ對スル百分ノ五デ五千圓ヲ直接取りマシテ、アトノ五千圓ニ又所得稅ヲ臨時利得稅ガ課カリマスノデ、稅額ハ僅カデアリマスガ、五千圓ト云フモノハ可ナリ大キナモノガ殖エル、此ノ點ハ大臣ノ御考ニ多少御考直シヲ要スル點ガアルト思ヒマス、又私共ガ直接接觸シテ居リマスルコトデ可ナリナ利益ニナツテ居ルモノガアル、只今私ハ「マニラ」麻ニ付テ研究ヲ致シテ居リマス、大體ニ於テ三割ノ利益ヲ擧ゲテ居ル、是ハ日本「マニラ」麻輸入同業會ト云フモノデ七軒ノ輸入商ガヤツテ居ルノデアリマスガ、是ハ三割ノ利益ヲ得テ居ル、一時上海デ内地ノ飼料ノ不足デ穀ヲ輸入シマス、向フデ二圓八十錢ノモノガ下關ニ著クト五圓デ直グ賣レテ居ツタノヲ、私共ハ澤山目撃シテ居リマスシ、

自分ハサウ云フコトニ接觸シテ居ル、又内容ガ軍需其ノ他ノモノデアルカラ其ノ方ニ轉嫁サレル、是ハ價格ヲ統制シテ居ラナイ時ニハ轉嫁ガ來ルガ、統制ノ下ニ於テハ轉嫁ヲサセナイ途モアル、之ニ對シテ一々個別ニ吟味致シマスナラバ、相當ノ國庫ノ財源ガ生レテ來ルコトヲ私共ハ信ジテ疑ハナイ、是等ノ資料ヲ提供ヲ御願シタイ、又資料トシテ秘密事項ニ互リマスルコトガアリマスルナラバ秘密會デモ宜シウゴザイマス、此ノ前秘密會ニ於テ物動計畫モ或ル程度内示サレテ居ルノデアリマスカラ、サウ云フ手續ヲ委員長ニ於テ御執リノ上資料ヲ與ヘテ貰ヒタイノデアリマス、之ニ對シマシテ御意見ガアリマスレバ伺ツテ置キマス

○櫻内國務大臣 只今ノ事ハ物動、其ノ他ニモ關係ガ色々アリマスノデ、果シテサウ云フ資料ヲ全部提供スルコトガ出來ルカ出來ヌカ知レマセヌガ、一應考慮シテ置キマス

○西川委員 尙ホ商工大臣ガ御見エニナリマセヌノデ、更ニ大藏大臣ニ對シテモウ一點別ノ問題ニ付テ伺ヒマス、私ハ現在ノ我國ノ財政經濟ヲ論議スル場合ニ於キマシテ、又是等ニ對スル有ユル政策ヲ決定致シマスルニ付キマシテ最モ重大ナル問題ハ、惡性「インフレーション」ナルモノノ實體ヲ究明スルコトデアアルト思フノデアリマス、今日惡性「インフレーション」ニ對スル所ノ論議ガ非常ニ盛ニアリマスガ、私ハ未ダ遺憾ナガラ惡性「インフレーション」ノ實體ニ關シマシテ究明サレタト云フコトニ接シナイノデアリマス、私ノ考カラ致シマスルト、此ノ間ノ豫算ノ附帶決議ニモ惡性「インフレーション」ト云フ文字ガ使ツテアリマスルノデ、私ガ斯様ナコトヲ申上ゲルノハ甚

ダ異ノヤウデアリマスルガ、私個人ノ考ラ率直ニ申上ゲマスルナラバ、惡性「インフレーション」ト云フガ如キ言葉ハ政治家ノ輕々シク口ニスベキ言葉デハナイト私ハ信ズル、此ノ間私ハ「ラデオ」ラ一寸聽イテ居リマシタ所ガ、大藏大臣御自身ノ講演デハアリマセヌ、他ノ者ノ講演ノ中ニ、櫻内大藏大臣ハ現在ノ我國ノ情勢ガ其ノ儘ニ放任シテ置クト惡性「インフレーション」ノ危險ガアル、斯ウ云フ風ニ櫻内大藏大臣ガ言ウテ居ラレマス、ト云フ講演ヲ聽キマシタ、私ハ櫻内大藏大臣ガサウ云フ言葉ヲ御用ヒニナツタノカドウカ知リマセヌガ、此ノ際私ハ惡性「インフレーション」ナルモノハ現在ノ情勢ガ直線ニ進シテ行ク場合ニモ起ルモノト御考ヘニナツテ居リマス、併シナガラ惡性ト云フ事實デアリマス、併シナガラ惡性ト云フ二字ヲ加ヘマスルコトニ依ツテ、非常ニ

私ハソコニ質ノ變化ガアルト思フ、警戒スベキハ「インフレ」ニアラズシテ惡性「インフレ」デス、絶對ニ防止シナケレバナラスノハ惡性「インフレ」デス、「インフレ」ハ防止スルコトノ出來ナイ現實ノ事實デアリマスルガ、惡性「インフレ」ト云フ場合ニハ餘程變ツテ來ルノデアリマシテ、此ノ惡性「インフレ」ト單ナル「インフレ」トノ質的ノ差別ヲ御認ニナルカドウカ、此ノ問題ニ對スル大臣ノ率直ナル御考ヲ承リタイ

○櫻内國務大臣 惡性「インフレーション」ノ問題ニ付キマシテハ、色々之ニ對シテ解釋ヲ加ヘテ居リ、又學者ニ依ツテ色々ナ意見ヲ言ハレテ居ル人モアルヤウデアリマス、私ハ此ノ惡性「インフレーション」ト云フ問題ニ對シテ、惡性「インフレーション」

トハ是レ「デアルト」云フコトヲ申上ゲヨウトハ致シマセヌガ、私自身ガ感ジテ居リマス點ハ、即チ通貨ガ非常ナル膨脹ヲ致シマシテ、購買力ハ一面ニ於テ殖エルガ、物資ガソレニ伴ハズシテ非常ニ物價ガ暴騰スル、更ニ又ソレガ惡循環ヲ致シテ、更ニ暴騰スル、而シテ通貨ノ信用ガ失墜致シテ爲替ハ暴落スル、物價ハ益々暴騰ヲシテ來ル、斯ウ云フ風ナ狀態ガ即チ「インフレーション」通貨膨脹ニ對スル所ノ惡イ方ノ性質ヲ持ツテ居ルモノデアツテ、斯ウ云フ場合ヲ注意シナケレバ相成ラス、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、惡性「インフレーション」トハ如何ナルモノデアアルカト云フ定義デアルトカ、其ノ解釋デアルトカ云フコトニ付キマシテハ、私其ノ方ノ專門家デアリマセヌノデ、唯私ノ考ヘテ居ル儘ヲ率直ニ申セバ、サウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○西川委員 只今大藏大臣ノ御答辯ニ依リマス、通貨ノ數量ガ漸次膨脹シテ、又物價ガ騰貴シテ、是等ガ循環關係ヲ以テ、是等ノ經濟的數量ガ膨脹スルナラバ、所謂惡性「インフレ」ニナツテ來ル、所謂經濟的數量ノ膨脹ニ依ツテ惡性「インフレ」ガ起ツテ來ル、是ハ大イニ警戒シナクテハナラス、斯ウ云フ御答辯デアツタヤウニ伺フノデアリマス、私ハソコニ於テ今日世人ノ頭ニピント來テ居ル惡性「インフレ」カラ見ルト、今ノ經濟的ナ自然膨脹ニ依ル惡性「インフレ」ト云フコトハ、少シ感ジノ上ニ於テ緩ヤカデアアルト思フ、世上デハ惡性「インフレ」ト申シマス、彼ノ歐洲大戰ノ後ニ獨逸ニ起ツタ現象ノ如キ、或ハ「ソ」聯ノ革命ノ前後ニ於テ露國ニ起リマシタル如

キ、或ハ其ノ他サウ云フ風ナモノヲ直チニ
聯想スルノデアリマス、私ハ斯ウ云フ風ナ
モノガ若シ所謂惡性「インフレーション」ノ實體デア
ルト致シマスルナラバ、ソレハサウ云フ風
ナ經濟的數量ノ膨脹ノミデ起ルノデハナイ
ト云フコトニ對シテ、一ツノ確信ヲ國民ニ
與ヘテ置クト云フコトガ、今後ノ經濟諸政
策ヲ實行サレル上ニ極メテ必要デアルト考
ヘルノデアリマス、私ハ今日ノ日本ノ經濟
政策ハ、惡性「インフレーション」ト云フ病氣ヲ恐レ
ルノ餘リ、丁度「コレラ」ガ流行致シマスル時
ニ、野菜ヲ食ベテモ「コレラ」ニナリサウダ、
水ヲ飲ンデモ「コレラ」ニナリサウダ、魚ヤ肉
ヲ食ベテモ「コレラ」ニナリサウダ、「コレラ」
ヲ恐レル餘リ之ニモ手ガ出セナイ、アレニ
モ手ガ出セナイト云フノデ、自ラ經濟政策
ニ於テ打ツ手ヲ封ゼラレマス爲ニ、遂ニ榮
養不良トナリ、身體衰弱シテ其ノ者ノ力ガ
衰ヘルト云フヤウナコトニ、今ノ經濟政策ノ
情勢ガナツテ居ルノデハナイカト思フ、ソ
コデ此ノ實體ヲ究明シテ、此ノ大事變ヲ遂
行シ、此ノ一ツノ國策ヲ遂行スル上ニハ、
經濟界ガ斯ウ云フ風ニナルハハ已ムヲ
得ナイノダ、是ハドウシテ斯ウナルノダ、
併シナガラ會テ獨逸ニ起ツタルガ如キ、露
西亞ニ起ツタルガ如キ惡性「インフレーション」ハ、
左様ナ經濟的數量ノ膨脹ニ依ツテ起ルノデ
ハナイノダト云フ確信ヲ國民ニ與ヘル、サ
ウ云フ風ニ國民ヲ教育スルコトガ、今後ノ經
濟諸政策ヲ遂行スル上ニ於テ極メテ必要デ
アルト思フノデアリマス、私ノ考ヲ率直ニ
申上ゲマスナラバ、私ハ單純ナル考デ言ツ
テ居ルノデハアリマセス、若シ大藏當局ガ、
大臣デナクテモ宜シイ、理財當局デモ
ナタデモ宜シイ、若シ私ニ此ノ「インフレーション」

問題ニ付テ五ニ究明シヨウト云フ御意思ガ
アリマセナラバ、私ハ文書ニ於キマシテ
モ、又議論ニ於キマシテモ、何時デモ應ジ
マス、私ノ確信スル所ニ依レバ、惡性「イ
ンフレーション」ハ經濟的範疇ノ問題デナイノダ、
惡性「インフレーション」現象ハ即チ社會學的ノ範
疇ノ問題デアリマシテ、社會統制ノ根本ニ
決裂ヲ生ジタ場合ニ是ガ起ル、即チ内亂、
革命、或ハ非常ナル政治的混亂、斯様ナコ
トニ隨伴シテ起リマスノガ、吾々ノ絕對ニ
避ケナクテハナラヌ所ノ惡性「インフレーション」デ
アリマス、併シナガラ假令經濟的數量ガ膨
脹致シマシテモ、其ノ政治ヲ過タズ、社會
統制ノ根本ヲ緊密ニ把握致シテ居リマシ
テ、社會統制ノ根本ニ決裂ヲ生ズルガ如キ
コトガナカッタナラバ、惡性「インフレーション」ナ
ルモノハ起ルモノデハナイ、私ハ日本ノ國
體トシテ、日本ノ國民ノ思想ト致シマシ
テ、斷ジテ惡性「インフレーション」ハ起ラナイ、
惡性「インフレーション」ハ斷ジテ起ラナイケレド
モ、併シナガラ此ノ經濟統制ノ下ニ於テ
ハ、經濟的數量ノ膨脹ハ已ムヲ得ナイ、此
ノ經濟的數量ガ膨脹スルナラバ、其ノ膨脹
スルノニ即應シタル政治ヲスルニアラズン
バ、此ノ難局ヲ打開スルコトガ出來ナイト
思フ、聊カ私ノ意見ニ互リマシタケレド
モ、尙ホ此ノ意見ニ對シマシテ、大藏大
臣ノ所見ヲ伺フコトガ出來レバ幸ト存ジ
マス

○櫻内國務大臣 今西川君ノ御話ニナル如
キ事柄ガ惡性「インフレーション」ト今日唱
ヘラレテ居ルノナラバ、私ハ日本ノ國體ト
シテ、是ハ起ラスコトヲ確信致シマス、併
シ今日世間デ惡性「インフレーション」ト唱
ヘテ居ル所ノモノハ、私ノヤウナ解釋ノ
仕方ヲ致シテ居ル者モアリ得ルノデハナカ
ラウカト思ヒマス、隨ヒマシテ兎ニ角西川君
ノ御話ノヤウナ惡性「インフレーション」ニ
アラストモ、吾々ガ一般ニ考ヘテ居ル惡性
「インフレーション」デモ、是ハ防ガナケレ
バナラス、之ヲ招イテハ相成ラス、斯ウ云
フコトガアツテハナラヌト云フ風ニ考ヘ
テ、私共ハ此ノ問題ヲ處理シテ行キタイト
思ツテ居ルノデアリマス

○西川委員 只今大藏大臣ノ言ハレタ意味
ニ於キマシテノ所謂「インフレーション」
私ハ此ノ惡性ト云フコトハ除イテ、一ツノ
「インフレーション」トシテ議論シタイと思フ、
ソコニナリマス、所謂社會統制ノ根本ガ
決裂スルカドウカト云フヤウナ意味ノ
絕對的ナ惡性「インフレーション」、サウ云
フコトハ絕對ニ起ラスト云フコトハ、大藏
大臣ハ承認サレタ、サウ云フ前提ニ立チマ
スカラ、一ツ惡性ト云フコトハ除クコトニ
御同意願ヒタイ、私ハ現在ノ社會情勢ノ下
ニ於テ、「インフレーション」ヲ防止シ得ルヤ否ヤト
云フコトヲ問ヒタイノデス、現在ノ政策ヲ
進メル上ニ於キマシテ、大藏大臣ノ言ハレ
ルヤウナ「インフレーション」ガ防止出來カドウ
カ、私ハ此ノ情勢ノ下ニ於キマシテハ、物
價ノ騰貴ハ必至デアルト考ヘル、私ハ是ハ
否定スルコトガ出來ナイと思フ、此ノ點ニ
付テ率直ニ大藏大臣ニ御答ヲ願ヒタイと思
ヒマス

○櫻内國務大臣 物價ノ騰貴ガ必至デア
ルト云フ御話デアリマスガ、大體ノ大勢カラ
申シマスと御説ノ通りデアリマス、今日低
物價政策ヲ堅持シテ、サウシテ物價ノ騰貴
ヲ起サナイヤウニ致シテ居リマスケレド
モ、物資ガ足りナクナツテ、サウシテ金ガ
多く出マスレバ、勢ヒハ騰貴シタガルモ
ノデアリマシテ、之ヲ防グト云フ事柄ハ可
ナリ困難ナコトデアリマス、併シナガラ之
ヲ低物價政策ニ依ラズシテ、此ノ儘放任シ
テ置キマスナラバ、ソレハ非常ナル物價ノ
騰貴ヲ招キマシテ、ソレガ而モ惡循環ニナ
ツテ、次第々々ニ騰貴ヲ招クノデアリマシ
テ、其ノ結果ハ經濟上容易ナラザル狀態ヲ
起シマスノデ、是ハ出來得ル限り低物價政
策ヲ堅持シテ、サウシテ總テノ物價ニ對シ
テ適正ナル價格ヲ定メテ、此ノ經濟上ノ情
勢ヲ圓滑ニスルト云フコトニ努力致サナケ
レバ相成ラスト考ヘテ居ルノデアリマス

○西川委員 物價ノ騰貴ト云フ言葉ヲ、私
ハ表現ヲ變ヘテ考ヘルト宜イト思フノデ
ス、學者ニ依リマスルト、物價ノ價值ハ獲得
ノ困難ナリト云フ學者ガアリマス、私ハ此
ノ獲得ノ困難ガ即チ物價ノ價值デアルト云フ
風ニ考ヘルコトガ、此ノ場合非常ニ了解シ
宜イト思フノデス、此ノ情勢ノ下ニ於キマ
シテハ、物資ヲ獲得スルコトノ困難ガ増大
スルト云フコトハ、是ハ必至デアリマス、
私ノ言葉ヲ正確ニ言ヒマスレバ、物資獲得
ノ困難ガ増大スルト云フコトハ必至デア
ル、其ノ物資獲得ノ困難サノ表現ガ價格ノ上ニ
表現サレルコトヲドウシテ防グカ、又ソレ
ヲ表現セシメナイデ、他ノ手段ニ依ツテ獲
得ノ困難サヲ現ハシテ行ツタ方ガ宜イカト
云フコトニ、政策上ノ見地ガ分レテ來ルノ
デアリマス、又通貨ノ膨脹モ、政府ガ大キ
ナ需要ヲサレマスル限り、此ノ需要ヲ充
足スル購買手段ガ何ニ依ツテ調達サレルニ
致シマシテモ、此ノ通貨ノ膨脹ト云フコト
ハ免レルコトハ出來ナイ、ソコデ私ガ御伺
シタイノハ、私ハ斯ウ云フ見解ヲ執ツテ居

リマス、公債ノ消化、是ハ自働的ナ力ヲ公債其ノモノガ持つテ居ルト云フ見解ヲ持つテ居ル、詰リ公債ヲ五十億御出シニナレバ、其ノ公債ヲ五十億消化スル力ガ公債其ノモノニ含マレテ居ル、現在ノ公債ハ百億出シマスルナラバ、百億消化スル力ヲ自ラノ中ニ含シテ居ル、私共ハ昭和十二年ノ春ノ議會ニ於テハ斯ウ云フ御議論ヲ聴キマシタ、我國ノ資本ノ蓄積力ハ一箇年二十五億位デアツテ、其ノ中ノ八億位ガ民間ニ必要デアルカラ、公債ノ消化力ハ七億位シカナイノダ、斯ウ云フ質問ガアリマシタノニ對シマシテ、其ノ時ノ結城大藏大臣ハ、ヤリ方ニ依ツテハ十三億デモ十五億デモ必ズシモ消化シナイト云フコトハナイト云フ御答辯ニナツテ居ツタ、焉ゾ知ラシ、其ノ年ノ夏ニハ支那事變ガ勃發致シマシテ、今數字ヲハツキリ覺エテ居リマセヌケレドモ、結局五十億近イ公債ガ消化サレタ結果ニナツテ居ル、ソレハ公債ガ自ラノ内部ニ之ヲ消化スル力ヲ持つテ居ル、詰リ公債ハ政府ノ購買力ノ相殺デアル、其ノ購買力ガ民間ニ流レテ行クノデアリマスガ、併シナガラ此ノ通貨ハ食フモノデモナケレバ、海ニ棄テルモノデアリマセヌカラ、結局一定ノ循環ヲ遂ゲタ後ニ銀行ノ窓口其ノ他ニ還ツテ來テ、遂ニ最後ニ是ガ公債ヲ消化スルヨリ外ニ途ノナイ資金ニナツテ來ル、ドウシテモ公債ヲ消化セザルヲ得ナイ、土地ヲ買ヒマシテモ、建物ヲ買ヒマシテモ、買ツタ者ガアレバ賣ツタ者ガアル、通貨ヲ支拂ツタ者ガアレバ受取ツタ者ガアルノデアリマスカラ、其ノ通貨ハ必ズヤ元ニ還流シテ公債消化トナル、政府ハ八十億貯蓄ヲ叫バレ、百億貯蓄ヲ叫バレ、更ニ百二十億貯蓄ヲ

叫バレマスガ、貯蓄ヲ御叫ビニナラヌデモ、政府ノ公債増發ノ高ニ應ジテ、ソレニ何倍カ掛ケタ貯蓄ニナラザルヲ得ナイノガ經濟上ノ理法デアリマス、私ハ此ノ事ヲ諄々シク申シマスノハ、即チ公債ノ消化ニ對シマシテ政府ガ餘リ御焦リニナラナクテモ、何處マデモ生産力擴充ノ見地ト配合セテ、其ノ有利ナル方面ニ御行キニナレバ宜シイト云フコトヲ言ハンガ爲デアリマス、私ノ私見ヲ諄々シク述べマシテ甚ダ恐縮デゴザイマスガ、以下商工大臣ノ御出席ガナイト私ノ質問ノ意義ガナイコトニナリマスノデ、商工大臣ノ御出席マデ他ノ委員ノ方ノ御質問ガアツテモ宜シウゴザイマスカラ、委員長ニ於テ適當ニ御計ヒヲ願ヒマス

○堀切委員長 承知致シマシタ、今日マデ西川君ハ三日ニ互ツテ御質問ガアリマシタカラ、一先ヅ此ノ程度ニシテ戴キタイト思ヒマス、商工大臣ハ東北興業ノ委員會ノ方ニ御出席ニナツテ、今日ハオ出デガ難カシイカト思ヒマス、ソレデ又他日ノ機會ニ商工大臣ガオ居デノ時ニ御質問願ヒタイト思ヒマス

○西川委員 ソレデハモウ一問ダケ大藏大臣ニ許シテ貰ヒマシテ、アトハ商工大臣ニ最後デモ宜シウゴザイマスカラ……

○櫻内國務大臣 只今西川君ノ御話デゴザイマシタガ、物價ノ騰貴ヲ抑ヘルコトハ實際容易デナイノデアリマス、殊ニ物資ヲ求メルコトノ困難デアルト云フコトガ一つノ價格ヲ構成スルト云フ御話ハ、是モ學說トシテ承ツテ居リマスガ、一つノ要素デアアルニ相違アリマセヌ、唯物價ガ騰貴シマス場合ニ於テ物其ノモノガ十分供給サレマスト、自然ニ價格ガ下落スルコトニナルノデ

アリマシテ、生産擴充ガウマク成功致シマスレバ、自然ニ幾分か緩和サレルデアラウカト思ヒマス、又今日物價騰貴ノ原因ノ中ニハ、配給機構ノ圓滑デナイ、サウ云フコトナドモ原因シテ居ル所ガアリマスノデ、是等ガ圓滑ニ配給サレマス、此ノ消費ト云フモノヲ幾分か緩和出來ルノデヤナカラウカト考ヘテ居リマス、私ハ物價騰貴ガ最早極マツテ、是カラ價格ガ低落スルト云フコトハ申上ゲマセヌケレドモ、兎ニ角今騰貴セズシテ、サウシテ低物價政策ヲ行クコトニ對シテ努力致シマセヌケレバ、御承知ノ通り豫算ノ上ニモ又其ノ他ノ方面ニ於テモ非常ニ困ルノデアリマシテ、其ノ點ニ付テ政府ガ最大ノ努力ヲ拂ツテ居ルヤウナ譯デアリマス、公債ガ自動的動作ヲ爲シテ、公債消化ハ公債發行ト相伴ツテ消化ガ出來ルノデアアルカラ、餘リ餘計ナ事ヲシナイ方が宜イデハナイカト云フ御意見デアリマスガ、勿論政府ハ不自然ナコトヲヤルト云フ考ハアリマセヌケレドモ、兎ニ角公債發行ノ結果トシテ、市中ニ通貨ガ非常ニ膨脹シテ散在スル額ガ多ケレバ多イダケ物價ヲ騰貴セシムル虞ガアリマスノデ、即チ貯蓄獎勵、或ハ種々ナル方法ヲ講ジテ、市中ニ撒布セラレタ資金ヲ吸收スルコトニ努力ヲ致シテ居ル譯デアリマシテ、其ノ點ハ御諒解ヲ願ツテ置キタイト思フノデアリマス

○西川委員 大變御迷惑ヲ掛ケマシテ相濟ト思ヒマス、此ノ點モ理論的ニ更ニ問答ヲ重ネマシテ究明致シマセスト、私ノ次ノ質問ガ出テ來ヌノデアリマスガ、其ノ點ハ未解決ノ儘ト致シマス、此處ニ財政研究會デアリマスガ、サウ云フ團體カラ戴イタ資料ガアルノデアリマス、此ノ數字ガ果シテ妥當デアルカドウカ、正確デアルカドウカ、私ハ算盤ヲ彈イタノデハアリマセヌカラ確言致シ兼ねマスケレドモ、財政研究會ハ相當權威アル機關ノ如ク存ジマスノデ、大體之ヲ信用スルコトニ致シマシテ、即チ今回ノ稅制改革ニ依リマシテ、國債利子、定期預金ノ利子ノ綜合課稅力源泉課稅カノ選擇ヲ許スト致シマス、高額所得者ニナレバナル程國債ヲ所持スルコトノ方が有利デアル、詰リ十萬圓ニナリマスルト、稅引利廻ニ於キマシテ改正案ハ「マイナス」二十四ニナル、是ハ現行制度ヨリモ遙カニ國債ヲ持つ方が稅引利廻ニ於テ有利ニナリ、株式ノ方が稅引利廻ニ於テ不利ニナルト、斯ウ云フ結果ニナツテ居ルヤウデゴザイマス、私ハ公債ソレ自體ガ自動的ノ消化力ヲ持つテ、ドウシテモ最後ニハ公債ヲ買フヨリ外ニ行場ノナイ金デアアル、詰リ物價ヲ持つテ居ツテハ利子ガ付カナイカラ銀行ニ預ケル、銀行モ亦日銀ニ預ケテ置イテハ仕樣ガナイカラ國債ヲ買フト云フコトニナルガ、ソレハ最後ニ廻シテ置イテ、成ベク生産方面ニ資金ヲ投資スル、生産力擴充方面ニ、有利ナル方面ニ租稅政策ニ於テ考慮シテ行ク必要ガアルト思ヒマス、サウ云フ點ニ於テ此ノ稅制ハ生産力ノ擴充ノ資金ノ調達ニ不利ニシテ、早ク公債ニ凍結シテシマフ、詰リ政府ガ流レ出シタ資金ヲ公債ニ凍結サセテシマツテ、ソレガ生産的ニ働カナイト云フヤウナ結果ヲ來スト思ヒマスガ、此ノ點ニ付キマシテ大藏當局ト致シマシテ如何ナル御見解ヲ持つテ居ラレマスガ

○大矢政府委員 財政研究會ノ意見トシテ

發表シテ居リマスノハ色々前提條件ガアル
ノデゴザイマシテ、例ヘバ株式ハ五分五厘
ニ廻ツテ、ソレガ大體常ニ移動ガナイモノ、

斯ウ云フヤウナコトヲ前提ニシテ居ルノデ
アリマス、銀行預金、ソレカラ公社債ト云
フノハ申スマデモナク定額債券デアリマシ
テ、利率モ一定シテ居リマス、是ト株式ノ
ヤウニ時價ガ始終動キ、配當率モ違フモノ
ヲ、同ジヤウナ基礎ニ立ツテ、サウシテ相
互ノ間ニ資金ガドウ云フ風ニ流レルカト云
フノヲ見ルコト自體ニ於テ、私ハ一ツノ危
險ガアルノデハナカラウカト思ツテ居リマ
ス、ソレカラ現行法ニ於キマシテモ、多少
ノ程度ノ差ハアリマスケレドモ、大體同ジ
ヤウナコトガアリマシテ、改正法ハ非常ニ
之ヲ激化シタモノトモ言ハレナイト思フノ
デアリマス、隨ヒマシテ今度ノ改正税法ニ
依ツテ資金ガ銀行預金或ハ國債ノ方ニ非常
ニ流レテ行ツテ、株式市場カラ引揚ゲラレ
ルト云フコトハ起ツテ来ナイ、大體從來ノ
情勢ヲ持續シテ行ケルモノト云フ風ニ思ツ
テ居リマス

○西川委員 私ハ尙ホ生産力擴充問題ニ付
キマシテハ商工大臣ト大藏大臣ニ色々質問
シタイコトヲ持ツテ居リマスガ、大變長イ
時間私ガ質問致シマシテ、非常ニ他ノ委員
諸君ニ御迷惑ヲ掛ケタコトト存ジマス、隨
テ商工大臣ニハドウシテモ御伺シナクチャ
ナラスコトガ殘ツテ居リマスノデ、若シモ
他ノ委員カラ私ノ間ハントスル所ガ問ハレ
ナカツタトシマシタナラバ、最後デモ宜シ
ウゴザイマスカラ、是非御許シヲ願フコト
ニシテ、其ノ點ダケ保留致シマシテ、私ノ
質問ヲ終リマス

○堀切委員長 理事ノ諸君ニ御諮リ申上ゲ

マス、今日ハ此ノ程度ニシテ、月曜日ノ午前
十時カラ開會致シタイト思ヒマスガ……

〔贊成ト呼フ者アリ〕

○立川委員 資料ノ要求ヲ致シタイト思ヒ
マス、昭和三年以降ノ國稅ト地方稅トニ分
ケテノ納稅者數、サウシテ其ノ中ノ滯納者
ノ數ト徵收不能者ノ數ヲ御知ラセ願ヒマス
○堀切委員長 ソレデハ本日ハ是デ散會致
シマス

午後四時四十一分散會

昭和十五年二月二十四日印刷

昭和十五年二月二十五日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局